年　報

2016年度（平成28年度）

No.19

長野県立歴史館

目　次

概　要

Ⅰ　沿　革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

1　開館までの歩み

2　開館後の歩み

Ⅱ　機能・組織・運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

1　機　能

2　組織と分掌

3　運　営

4　関係法規

Ⅲ　施　設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

1　平面図

2　諸　室

事　業

Ⅰ　平成28年度の主な事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

Ⅱ　展　示　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

1　常設展示

2　企画展示等

Ⅲ　教育普及公開　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38

1　学校・団体見学　実施記録

2　企画展関連講演会等

3　講　座

4　歴史館ふるさと講座 in 千曲

5　歴史館から考える戦争と平和

6　長野県カルチャーセンター連携講座

7　八十二文化財団連携講座（大人の遠足）

8　県内連携講座

9　考古学セミナー

10　近世史セミナー

11　講習会

12　各種講習会・イベント

13　展示解説

14　学校との連携

15　博物館実習

16　インターンシップ

17　職場体験学習
18　サークル育成活動
19　ボランティア活動
20　博物館関係職員等研修会
21　職員派遣(出前講座)
Ⅳ　共催事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
Ⅴ　出　版 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
1　長野県立歴史館たより
2　ブックレット
3　研究紀要
4　その他
Ⅵ　閲覧・情報提供 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
1　図書等資料
2　情報提供
Ⅶ　調査研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
1　調査研究の体制と内容
2　学芸研究会
3　時代別研究会
Ⅷ　資料の収集・整理・保存 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
1　資料収集の方針
2　展示資料
3　考古資料
4　文献史料
Ⅸ　広　報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
1　広告・案内
2　記事・報道
資　料
Ⅰ　資料利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
Ⅱ　閲覧利用・情報利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
Ⅲ　利用者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
Ⅳ　収蔵史資料数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
日　誌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92

―概　要―

Ⅰ　沿　革

1　開館までの歩み

1988年（昭和63）　4月……「第二次長野県総合５か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元）　7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2）　10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3）　4月……開館準備専任職員配置
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4）　9月24日‥起工式
1994年（平成6）　5月……建設工事完成
8月……展示工事完成
11月 3日‥開館

2　開館後の歩み

1994（平成6）年度
11月　開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度
やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）
7月　夏季企画展「絵図にみる信濃」
8月　特別展示「終戦日8月15日の長野県民」
10月　秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度
新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施
7月　夏季企画展「縄文人の一生」
10月　秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」
1997年1月　館蔵品展

1997（平成9）年度
9月に館燻蒸を初めて実施
7月　夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」
8月　長野県立歴史館ホームページ開設
10月　秋季企画展「長野県にみる世界の文化」
1998年1月　館蔵品展
3月　皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度
古文書講座を入門講座と解読講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。
6月　屋代木簡特別展示
7月　夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」
10月　秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。
1999年2月　長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度
やさしい信濃の歴史講座（「やさしい信濃の歴史学習会」を改称）、考古学講座（「考古資料講座を改称）。歴史館セミナーを年3回実施。
4月　館蔵品展

6月　佐久セミナー
7月　開館五周年記念特別展「信濃名宝展」
10月　秋季企画展「闇学万華鏡」
11月　開館５周年記念式典挙行
2000年1月　考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

2000（平成12）年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画。
7月　木曽セミナー
夏季企画展「千曲川歴史紀行」
10月　秋季企画展「歴史の宝庫　秋葉みち」
12月　長野県人権啓発センター開設（講堂棟）
2001年1月　長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」
ホームページ全面更新　独自ドメイン（www.npmh.net）取得

2001（平成13）年度

5月　館蔵品展「屏風の世界」
7月　夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」
諏訪セミナー
10月　秋季企画展「文人墨客がつどう」
2002年1月　特別公開「雛人形と雛道具」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

2002（平成14）年度

5月　テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
7月　夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」
北安曇セミナー
10月　秋季企画展「開設四百年　中山道－信濃二十六宿と間宿－」
2003年1月　特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

2003（平成15）年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館としてはじめてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解読にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、３年連続の増となった。

5月　テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
7月　夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」
上伊那セミナー
9月　秋季企画展「もみじ　夕焼け　里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」
同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」
2004年 1月　特別公開「重要文化財　神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

2004（平成16）年度

開館10周年の節目の年にあたり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数１万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

5月　春季展「神がみへの願い人々の祈り－古代のまつり－」
7月　開館10周年記念式典
夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
10月　秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村までー」
2005年 1月　新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」（共催事業）

2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。
企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森将軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

5月　春季特別展「里帰りした赤羽刀－ＧＨＱ接収刀剣の輝き－」
7月　夏季企画展「地下4mの縄文伝説－屋代遺跡群　愛と出会いの4千年－」
　　飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
10月　秋季企画展「信州舞台物語－団十郎も須磨子もやってきた－」
11月　特別公開「六角木幢－極楽浄土への道しるべ－」(共催事業)
2006年 1月　特別公開「雛人形と雛道具－身だしなみとよそおい－」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」(共催事業)

2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に村して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目（平成7年度）の13万人に次ぐ112，230人を記録することができた。

5月　春季展「古瓦からみた信濃の古代－神津猛・米山一政資料を中心に－」
7月　夏季企画展「幕末の信州－時代を駆けた草莽たち－」
9月　秋季企画展「戦時下の子どもたち－信州の十五年戦争－」
11月　「信州の歴史遺産Ⅰ－新指定長野県宝と歴史館のお宝－」
2007年1月　冬季展「信濃の人形－いのりと願い－」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」(共催事業)

2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117，236人の入館者を記録する事が出来た。

5月　春季展「埋もれていた信州遺産の発見－長野県埋蔵文化財センター２５年の歩みから－」
7月　夏季展「絵地図の魅力－わたしの城下町－」
9月　文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」
10月　秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
2008年1月　冬季展「信濃の人形展」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」(共催事業)

2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何？」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習（勾玉づくり）の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感じることができた。

5月　春季展「うつわは語る　－縄文から近世まで－」
7月　夏季企画展　「大庄屋って何？　－安曇郡・清水家文書の350年－」
9月　秋季企画展　「よみがえる氷河時代の狩人」
12月　冬季展「信州の歴史遺産Ⅱ　－長野県宝と歴史館のお宝－」
2009年 3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」(共催事業)

2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に２回の公開講座を実施した。

4月　春季企画展「善光寺信仰 ── 流転と遍歴の勧化 ── 」
8月　夏季展「信州 知の遺産の系譜 ── 歴史を記録した先人たち ── 」
9月　秋季企画展「山を越え川に沿う ── 信州弥生文化の確立 ── 」

12月　冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ ― 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ ―」
2010年 3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」（共催事業）

2010（平成22）年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林Ｂ遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

5月　春季企画展「ひめゆり　平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
7月　夏季展「あの世への想い ― 日本人はどのように埋葬されてきたか ―」
9月　秋季企画展「東の牛伏寺　西の若澤寺 ― 古代に創建された松本平の二つの寺院 ―」
12月　冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ ― 文字のちから ―」
2011年 3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」（共催事業）

2011（平成23）年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

5月　春季展「武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー」
7月　夏季企画展「激動を生きぬく ― 信濃武士市河氏の400年 ―」
9月　秋季企画展「観光地の描き方 ― 浮世絵版画から観光パンフレットまで ―」
12月　冬季展「郷土のお宝 ― 『重文・県宝』を見よう ―」
2012年 3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」（共催事業）

2012（平成24）年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめて一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

5月　春季企画展「長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー」
7月　夏季展「戦争と宣伝　阿智村ポスターが語る」
9月　秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」　後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」
2013年 1月　冬季展「愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー」
3月　埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」（共催事業）

2013（平成25）年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をおいた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。」秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戌の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

4月　天皇・皇后両陛下行幸啓
6月　夏季展「信州の野球史ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー」
9月　秋季展「刃が語る信濃」
11月　冬季展「山国の水害ー戌の満水と善光寺地震ー」
2014年 2月　館蔵品展「戦前の観光信州」
3月　埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」（共催事業）

2014（平成26）年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をおいた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月　館蔵品 展「歴史に煌めく日本の美」
7月　夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～
9月　秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」
11月　冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」
2015年 2月　春季展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」は、当館が収蔵する絵図地図約2,700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月　「長野県の遺跡発掘2015」
7月　戦後70年企画展「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」
10月　秋季企画展「樹木と人の交渉史」
12月　冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」
2016年 3月　「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。６月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」（５回）を実施、延べ600人の聴講者があった。８月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」（４回）を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年１月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野２会場に加え、佐久会場（佐久市近代美術館）での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9,300人ほどが聴講した。昨年の年74回、4,300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

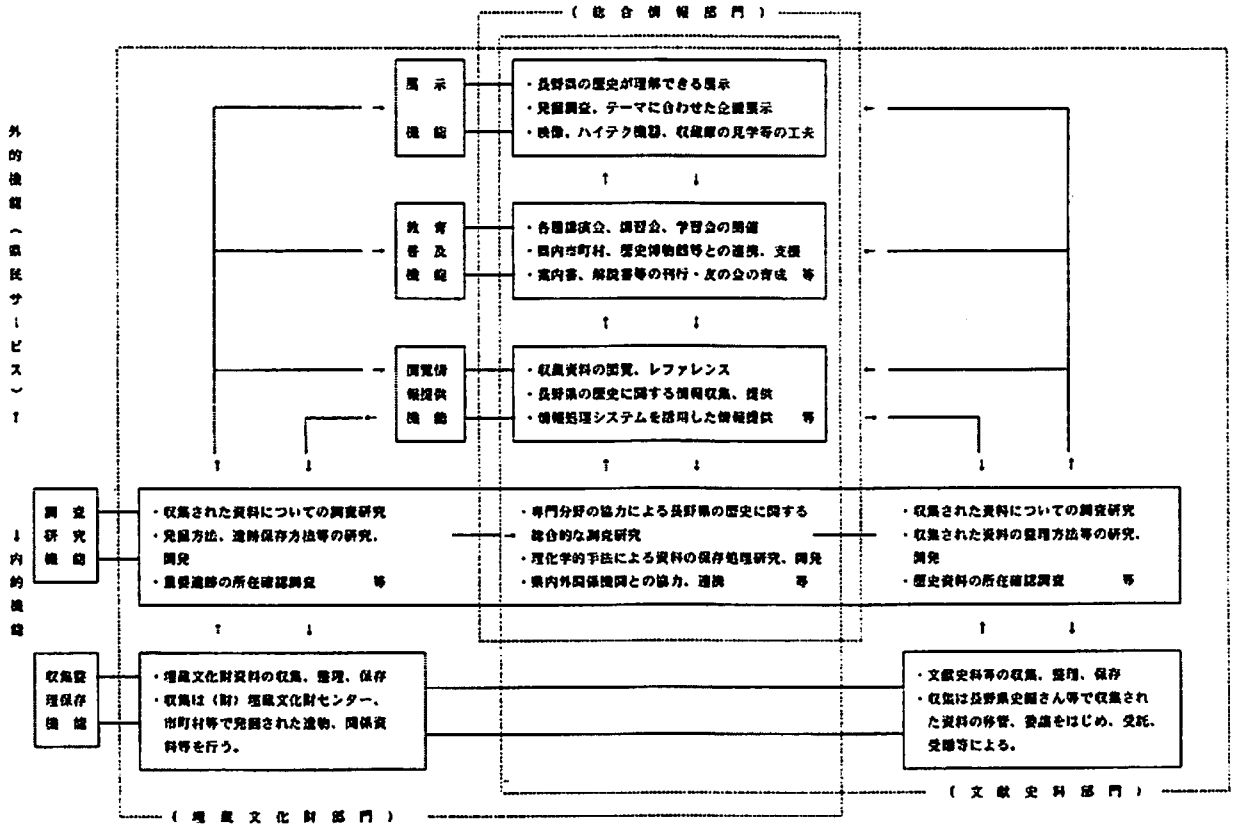
「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月　「長野県の遺跡発掘2016」
7月　夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄路の軌跡－」
9月　秋季企画展「－文化の十字路－木曽の宝」
12月　冬季展「信濃国の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」
2017年 3月　「長野県の遺跡発掘2017」

Ⅱ　機能・組織・運営

1　機　能



県立歴史館機能構成図（平成元年７月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

建設基本構想骨子（平成２年11月建設委員会決定）

1　施設の性格

(1)　発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。

(2)　文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2　設置場所

更埴市大字屋代字清水（森将軍塚古墳付近）

3　館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

ア　埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。

イ　発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。

ウ　映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

ア　各種講演会、講習会、学習会を開催する。

イ　県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

ア　収蔵資料を閲覧に供する。

イ　長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

ア　収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。

イ　専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。

ウ　発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。

エ　重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

ア　長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。

イ　資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

4　館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

ア　展示の企画、開催、教育普及活動等

イ　長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

ア　埋蔵文化財資料の収集、整理、保存

イ　遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

ア　行政文書、古文書などの収集、整理、保存

イ　古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

ア　庶務、会計

イ　施設、設備の管理

5　敷地の概要

取得面積　約 19,500 ㎡

（用途別内訳）

建物面積	6,500 ㎡程度	駐車場	4,500 ㎡程度
外構面積	6,500 ㎡程度	屋外展示	2,000 ㎡程度

6　施設の概要

建築面積　　6,500 ㎡程度

延べ床面積　10,000 ㎡程度

（部門別内訳）

総合情報部門	3,100 ㎡程度
埋蔵文化財部門	2,750 ㎡程度
文献史料部門	1,850 ㎡程度
管理部門	2,300 ㎡程度

7　建設計画

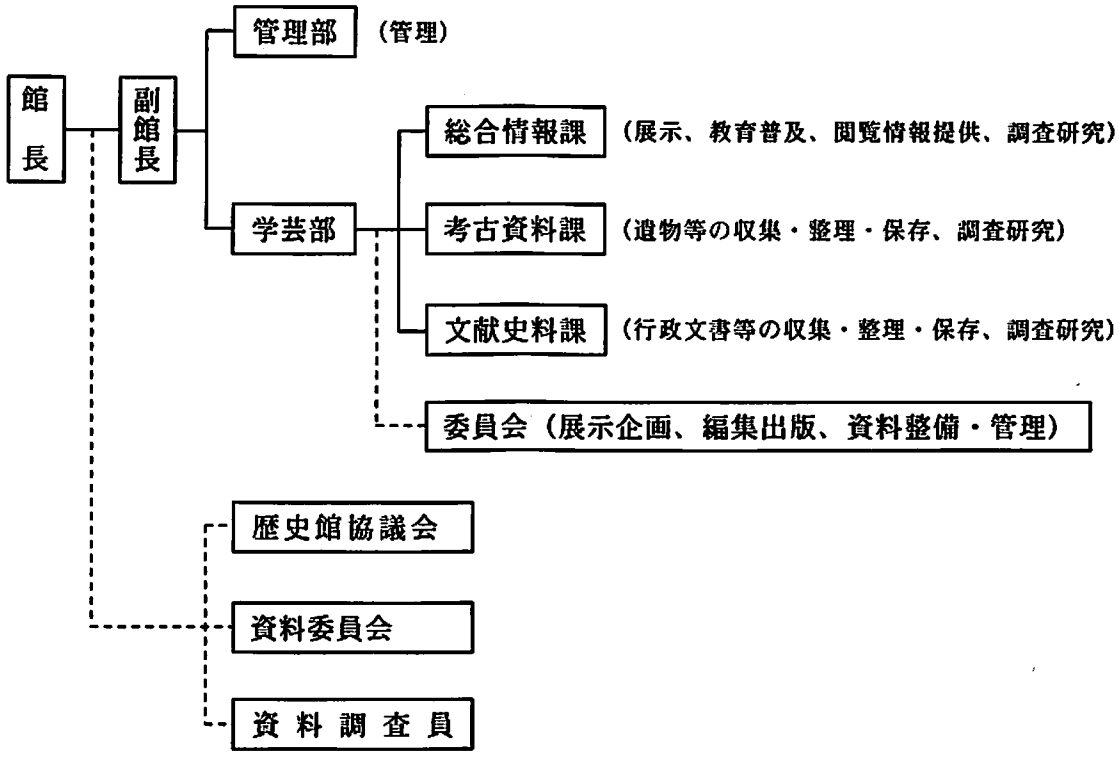
平成４年	着工
平成５年	完成
平成６年（春）	開館

8　施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2　組織と分掌

○組織図（平成 28 年 4 月 1 日現在）



○分掌表

部　課		分　掌　事　項
管理部		1　庶務及び会計に関すること 2　組織及び人事に関すること 3　営繕に関すること 4　警備、清掃及び防火に関すること 5　施設、設備の保守管理に関すること
学芸部	総合情報課	1　歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2　教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること 3　図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること 4　情報提供の企画及び実施に関すること 5　各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考古資料課	1　考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2　埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること 3　教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 4　情報提供の実施に関すること 5　考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文献史料課	1　文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2　教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 3　情報提供の実施に関すること 4　文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

3　運営

(1) 平成28年度 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し、展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

①展示の充実

(a) 常設展示（年間展示・展示替２回）

(b) 企画展等

・夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」

・秋季企画展「木曽の宝」

・冬季展「信濃国の城と城下町」

(c) 埋蔵文化財速報展

・「長野県の遺跡発掘 2016」（共催事業）（長野・伊那・安曇野・佐久会場）

・「長野県の遺跡発掘 2017」（共催事業）（長野会場）

(d) 上記展示に関連した展示解説や講演会等の事業

②歴史関係講座等の開催

(a) 飯田市美術博物館連携講座、安曇野市豊科郷土博物館連携講座、八十二文化財団共催講座、長野県カルチャーセンター連携講座

(b) 歴史館セミナー、やさしい信濃の歴史講座、考古学講座、古文書講座〔初級・中級・上級〕

(c) その他各種講演会・講座等の開催

(d) 文化庁助成事業

③刊行物の発行

(a) 年報、研究紀要、ブックレット及び歴史館たより等の発行

(b) その他パンフレット等を随時発行

④史資料の収集、整理、保存及び公開

(a) 本県に関係する考古資料、歴史史資料、行政文書等の散逸防止を図るための収集、整理及び保存

(b) 長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析、保存処理、整理及び保存

(c) 収集、整理及び保存している史資料の積極的な公開や活用の促進

(d) 長野県の歴史を明らかにするための総合調査の計画、実施

⑤その他

(a) 歴史館の運営に関係する諸機関との連携強化

(b) 学校教育や生涯学習及び文化財保護活動等への支援

(c) 長野県博物館協議会及び長野県史料保存活用連絡協議会等に係る業務の推進

(d) 信州大学学芸員課程講座

（2）職員名簿（平成29年3月31日現在）

館　長　笹本　正治

副館長　伊藤　靖

管理部長　伊藤　靖（兼）

学芸部長　青木　隆幸

管理部

主　幹	本藤　直美
主　査	越野　哲雄
主　事	黒岩　豊和
職　員	近藤　千代子
同	手島　良子
同	南澤　麻美

総合情報課

課　長	原　明芳
主幹・学芸員	林　誠
主　事	渡邉　玄
専門主事	寺内　隆夫
同	畔上　不二男
同	小野　和英
同	山田　直志
同	溝口　俊一
同	市川　厚
専門員	市川　美穂

考古資料課

課　長	大竹　憲昭
専門主事	西山　克己
同	白沢　勝彦
同	遠藤　公洋
専門員	鈴木　詩郎

文献史料課

課　長	中野　充一
専門主事	村石　正行
(再)専門主事	福島　正樹
専門員	徳嵩　雄司
同	宮下　啓一

（3）長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏　名	役　職
久留島　浩	国立歴史民俗博物館長
小林　正春	長野県考古学会長
小松　芳郎	信濃史学会長
下村　征子	東御市教育長職務代理者
高澤　政江	公募
中條　智子	(一社)長野県連合婦人会長
中村　孝子	坂城小学校教諭
早見　千津子	(公財)八十二文化財団職員
山口　敏男	千曲市森将軍塚古墳館長
山崎　まゆみ	公募

（4）長野県立歴史館資料調査員

氏　名	担当範囲
福島　邦男	南佐久郡・佐久市
牧野　和人	北佐久郡・小諸市
倉澤　正幸	小県郡・上田市・東御市
高見　俊樹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
丸山　敏一郎	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
山内　尚巳	下伊那郡・飯田市
榊川　浩司	木曽郡
小松　芳郎	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊藤　信一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
小林　茂樹	北安曇郡・大町市
久保田　廣志	埴科郡・千曲市
丸山　文雄	上高井郡・須坂市
樋口　和雄	下高井郡・中野市
西沢　安彦	上水内郡・長野市
小柳　義男	上水内郡・長野市
望月　静雄	下水内郡・飯山市

(5) 長野県立歴史館資料委員会委員（五十音順）

氏　名	役　職	分　野
上條　宏之	長野県短期大学学長	近・現代資料
工楽　善通	大阪府立狭山池博物館長	原始資料
竹内　誠	東京都江戸東京博物館長	近世資料
平川　南	山梨県立博物館長	古代・中世資料
矢島　新	跡見学園女子大学教授	美術工芸資料

4　関係法規

長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号）

（趣旨）

第1条　この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）並びに地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2条　考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）を千曲市に設置する。

（職員）

第3条　歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第4条　歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3　協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（使用の許可）

第5条　歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

（使用料の納付）

第6条　歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

（使用料の額）

第7条　前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

（使用料の減免）

第8条　知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第9条　この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附　則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附　則（平成15年7月24日条例第47号）

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附　則（平成17年3月28日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附　則（平成24年3月22日条例第40号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則（平成6年教育委員会規則第5号）

（趣旨）

第1条　この規則は、長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。）第9条の規定により、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条　歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、火曜日）

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

（開館時間）

第3条　歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（歴史館協議会）

第4条　条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2　歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3　歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

（使用の許可等）

第5条　条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書（様式第1号）を教育委員会に提出し、展示資料を観覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2　教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券（様式第2号）を交付するものとする。

（閲覧の制限）

第6条　教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

（遵守事項）

第７条　歴史館の使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。

(2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。

(4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

（入館の制限等）

第８条　教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

（使用許可の取消し等）

第９条　教育委員会は、歴史館の使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

(1) 第７条の規定に違反したとき。

(2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

（損害の賠償）

第10条　歴史館の使用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（補則）

第11条　この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この規則は、平成６年11月３日から施行する。

附　則（平成17年３月28日教育委員会規則第５号）

この規則は、平成17年４月１日から施行する。

附　則（平成24年３月22日教育委員会規則第５号）

この規則は、平成24年４月１日から施行する。

長野県立歴史館協議会運営細則

（趣旨）

第１条　この細則は、長野県立歴史館条例（平成６年条例第24号）第４条及び長野県立歴史館管理規則（平成６年教育委員会規則第５号）第４条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会（以下「協議会」という。）の運営に必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第２条　協議会に会長及び副会長を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選とする。

３　会長は会務を総理し、協議会を代表する。

４　副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

（会議）

第３条　協議会の会議は、会長がその議長となる。

２　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第４条　協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

（委任）

第５条　この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附　則

この細則は、平成24年10月１日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会要綱

（設置）

第１条　長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

（委員）

第３条　委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、７名以内とする。

２　委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

３　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

４　館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

（会長及び副会長）

第４条　委員会に会長及び副会長を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選とする。

３　会長は会務を総理し、委員会を代表する。

（会議）

第５条　　委員会の会議は、館長が招集する。

２　会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附則

この要綱は、平成７年７月１日から施行する。

この要綱は、平成25年11月１日から施行する。

この要綱は、平成27年４月１日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

（趣旨）

第１条　この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

（委嘱）

第２条　調査員は、歴史館長が委嘱する。

２　調査員には、調査員証（様式第１号）を交付する。

３　調査員証は第６条に規定する調査以外に用いてはならない。

（任期）

第３条　調査員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

（員数及び調査区域）

第４条　調査員は、１６名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

（調査対象）

第５条　調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史資料とする。

（調査方法及び報告）

第６条　調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他歴史館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を歴史館長に報告するものとする。

（守秘義務等）

第７条　調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、　職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

（会議）

第８条　調査員の情報交換、調査事項の指示のため、歴史館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附則

この要綱は、平成７年10月１日から施行する。

附則

この要綱は、平成18年５月26日から施行する。

Ⅲ　施　設

敷地面積　19,593㎡
建築面積　6,702㎡（延床面積10,457㎡）
鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室（1,278㎡）、企画展示室（292㎡）、講堂（238席）、第一研修室（実習室）（186㎡）、第二研修室（148㎡）、閲覧室（159㎡）、展示準備室、図書室、情報処理室、映像情報室 等

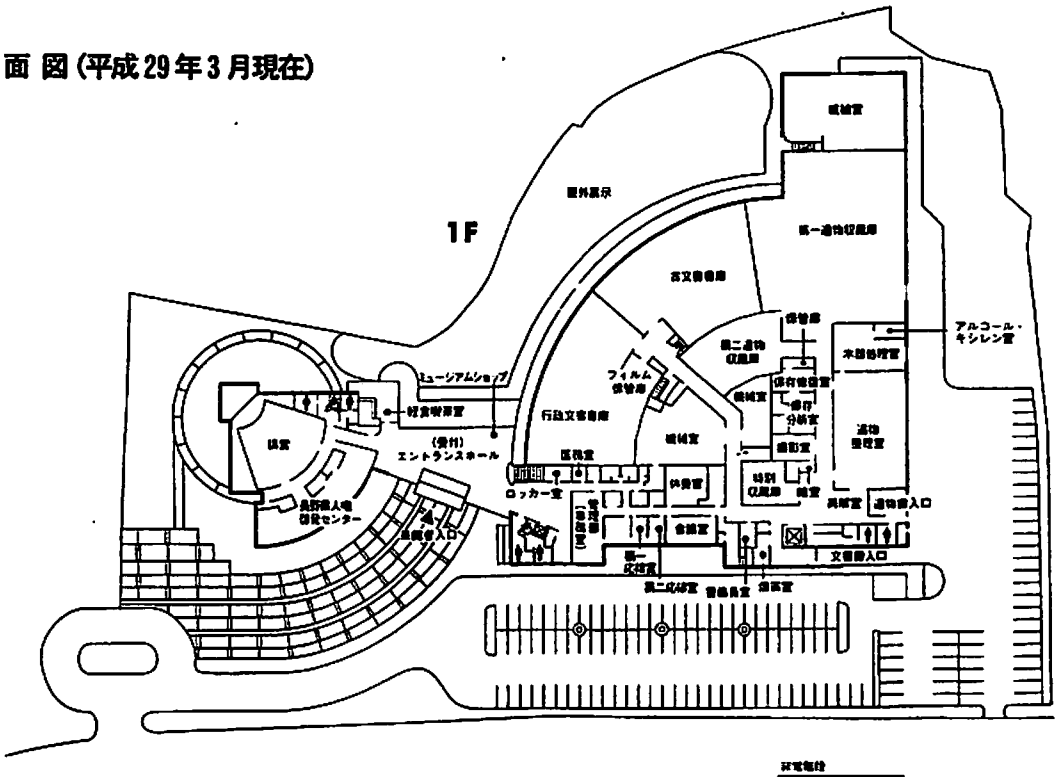
考古資料部門

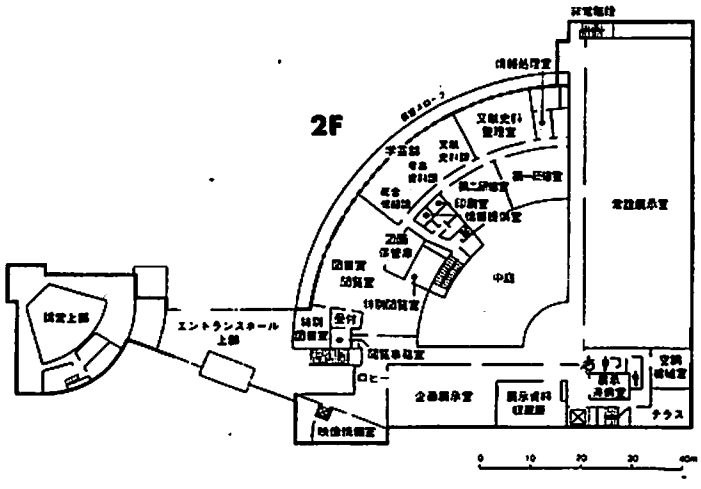
遺物整理室（348㎡）、第一遺物収蔵庫（982㎡）、第二遺物 収蔵庫（215㎡）、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室（145㎡）、行政文書書庫（592㎡）、古文書書庫（583㎡）、燻蒸室、フィルム保管庫 等

1　平 面 図（平成29年3月現在）





2 諸室

部門	室名	面積(㎡)	用途	備考
学芸部門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史資料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1階
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料閲覧	2階
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	映像情報室	73	ビデオ映像による歴史学習	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	2階
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台根・目録作成	
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	2階
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種科学分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な資史料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	2階
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	1階
長野県人権啓発センター		188		1階
	小計	6,601		
管理部門	事務室	130	管理部門職員の執務	1階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下等	
小計		3,856		
合計		10,457		

—事　業—

Ⅰ 平成28年度の主な事業実績

事業名			実施時期	利用者数	備考
自主事業	展示	常設展	年間(301日)	39,850	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2016」	(4月1日) ～6月26日	17,325	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2016」（伊那会場）	7月9日～8月21日	1,202	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2016」（安曇野会場）	9月3日～10月16日	2,577	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2016」（佐久会場）	10月29日～11月13日	1,044	
		夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	7月9日～8月28日	4,192	
		秋季企画展「木曽の宝」	9月17日～11月27日	6,782	
		冬季展「信濃国の城と城下町」	12月17日～2月26日	2,927	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2017」	3月18日～（3月31日）	973	
	講演会・講座・講習会等	企画展関連講演会等（年31回）	4～2月	2,179	
		巡回企画展関連講演会等（年4回）	9～11月	393	
		やさしい信濃の歴史講座（年7回）	12～3月	1,013	
		やさしい信濃の歴史講座in上田・松本・箕輪（年4回）	8月～12月	250	
		考古学講座（年4回）・遺跡探訪会（年1回）	7～12月	260	
		古文書講座（初級A･B、中級A･B、上級別にそれぞれ年5回）	5～11月	757	
		歴史館ふるさと講座in千曲（年5回）	6・7月	611	
		歴史館が考える戦争と平和（年4回）	8・9月	445	
		出前講座（年121回）	4～3月	9,530	
		バックヤード探検・見学	4～3月	11,668	
		考古資料保存処理講習会(年1回)	11月	18	
		文献史料保存活用講習会（年3回）	11月・3月	113	
		各種講習会・イベント	4～3月	3,289	
	その他	史資料等の閲覧	年間(301日)	4,094	
共催事業	講演会等	飯田市美術博物館連携講座（年2回）	2・3月	52	
		安曇野市豊科郷土博物館連携講座（年1回）	2月	26	
		大人の遠足（事前学習2回、現地見学1回）	9・10月	138	八十二文化財団
		長野県カルチャーセンター連携講座（6回）	4～9月	123	長野県カルチャーセンター
		考古学セミナー（年1回）	3月	135	長野県考古学会
		近世史セミナー（年1回）	11月	51	信濃史学会
		古文書愛好会古文書演習	1・2月	373	
計				112,390	

Ⅱ 展　示

1　常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとのくらし」

(1)　常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

①　常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

②　常設展示の方法

・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③　常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

周辺展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構　成

木曽ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林のヒノキ（実大環境復原）	平成28年4月～29年3月	ヒノキ立林、植生
年輪から歴史を読む	平成28年4月～29年3月	木曽ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

原始　信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ　　ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	平成28年3月～29年3月	ナウマンゾウ模型、ナウマンゾウ第１臼歯模型　他
最初に住んだ人びと	平成28年3月～29年3月	竹佐中原遺跡・日向林Ｂ遺跡石器 他
発達した狩りの道具	平成28年3月～29年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

中テーマ　　中央高地の縄文文化

1万5,000年前、木の実を集め鳥獣を狩り魚をとる食料採集を基礎とし、粘土で焼きあげた器、つまり土器を使う縄文文化がはじまった。5,000～4,000年前、縄文中期の長野県の地域は、日本一の人口密集地であった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	平成28年3月～29年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、骨角製装身具 他
定住のはじまり	平成28年3月～29年3月	崩越遺跡土器、阿久遺跡土器、石器、装身具 他
森の中の縄文文化	平成28年3月～29年3月	崩越遺跡土器、屋代遺跡群獣骨類他
寒冷化する環境の中で	平成28年3月～29年3月	岩下遺跡、北村遺跡土偶・石器、村東山手遺跡土器 他

中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文のムラ（実大環境復原）	平成28年3月～29年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽 他

中テーマ　　稲をつくった信濃人

2,500年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。200年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	平成28年3月～29年3月	篠ノ井遺跡群土器、石包丁、人面付土器片 他

中テーマ　　古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
炉からカマドへ	平成28年3月～29年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
黄泉の国へ	平成28年3月～29年3月	陣馬塚古墳大刀、松原遺跡馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	平成28年3月～29年3月	天冠、帯金具 他

古代　信濃国のなりたちと人びとのくらし

中テーマ　　条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	平成28年4月～29年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	平成28年4月～29年3月	木製農具（鍬、鋤、杵、梶、えぶり）
条里水田	平成28年4月～29年3月	条里区画変遷模型

中テーマ　都と信濃

７世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信濃から都へ	平成28年3月～29年3月	信濃国印（復原模造）、和名類聚抄（複製）、藤原宮木簡（複製）、平安京二条大路木簡（複製）、長岡京木簡（複製）

中テーマ　平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
荘園と国衙	平成28年3月～29年3月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、土師器皿、須恵器円面硯、帯金具、長良私印（複製）、貞観寺田地目録（複製）、鍔口（模造）、磬（模造）

中世　信濃武士と百姓のくらし

中テーマ　武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
合戦図と武士の世界	平成28年3月～28年9月 28年12月～29年3月	川中島合戦図屏風、軍扇（寄託）
木曽義仲と荘園	平成28年9月～28年12月	木曽義仲合戦図屏風、市河文書 木曽義仲下文（複製）
秋季企画展「木曽の宝」関連展示	平成28年9月～28年12月	大坪流馬之図、常滑焼 甕

中テーマ　鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	平成28年3月～28年9月 28年12月～29年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵詞伝(複製)
鎌倉時代の善光寺門前 (実物環境復原)	平成28年4月～29年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ　（交通と流通）真田氏　戦国乱世をかけめぐる

中世の信濃では、武士や寺社などが日本全国やアジア各地と盛んに交流し、たくさんの物資や文化がもたらされた。寺社の門前や荘園の要地には市が立ち、商業や交通が発達し貨幣が使用された。

しかし、今年度は昨年度から引き続き、ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」放映に合わせた真田氏特別コーナー「真田氏　戦国乱世をかけめぐる」とした。戦国時代から現代に到る真田氏の歴史や真田氏に関わる事柄について、５期（今年度は４期分）に分けて資料を展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
戦国乱世と真田氏	平成28年1月～28年5月	川中島合戦之図、信州川中島合戦錦絵、信長黒印状、火縄銃
天下分け目の戦と真田氏	平成28年5月～28年8月	関ヶ原合戦両軍布陣図、美濃国関ヶ原青野ヶ原御陣要、高野山御霊屋之図、関ヶ原軍記大全
上田から松代へ	平成28年9月～28年12月	上田藩主（真田信之）画像、上田城下絵図、小県郡上田古城之図
真田三代	平成28年12月～29年2月	真田三代記、難波戦記大全、真田木村後藤三将之図、大鋒院殿御事蹟稿、御系図、真田氏関係書籍（真田幸村、正伝真田三代記、猿飛佐助、真田太平記）

近世　江戸時代の町と村のくらし

中テーマ　　（領主と町・村）真田氏　戦国乱世をかけめぐる

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る。官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村役人の下、年貢を負担しながら生活したが、旅や年中行事等が盛んになっていった。しかし、今年度は昨年度から引き続き、ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」放映に合わせた真田氏特別コーナー「真田氏　戦国乱世をかけめぐる」とした。戦国時代から現代に到る真田氏の歴史や真田氏に関わる事柄について、５期（今年度は４期分）に分けて資料を展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
戦国乱世と真田氏	平成28年1月～28年5月	上州利根郡沼田城之図、上州我妻郡岩櫃城之図、真田秘伝記、長国寺殿御事蹟稿
天下分け目の戦と真田氏	平成28年5月～28年8月	大坂冬陣之図、大坂夏陣之図、真田信之朱印状、左衛門佐君伝記稿
上田から松代へ	平成28年9月～28年12月	松代城下町絵図、松代町天王祭礼図、信州松代祭礼絵巻、松代藩主画像（真田信之、幸貫）
真田三代	平成28年12月～29年2月	真田家御事蹟稿（一徳斎、長国寺、大鋒院、左衛門佐）、真田秘伝記、滋野世記
城と城下町（雛人形）	平成29年3月	享保雛、古今雛
正保信濃国絵図	平成28年4月～29年3月	正保信濃国絵図、信濃国郷村帳、映像「信濃国領主の移り変わり」

中テーマ　　庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、１日２食から３食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	平成28年4月～29年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	平成28年4月～29年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ　中馬と地場産業

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、様ざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	平成28年4月～29年3月	ランドサット図
信州中馬	平成28年4月～29年3月	中馬装束模型
街道の風景	平成28年4月～29年3月	信州松本通見取絵図控（岩鼻、稲荷山宿、立峠、松岡村）、木曽街道六十九次之内（軽井沢、下諏訪、福し満、贄川、須原、妻籠ほか）、馬頭観世音、道祖神

中テーマ　　信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達した。祭りの日には若者たちが化粧をして歌舞伎や人形芝居、相撲興行などを行った。庶民の生活文化は多様に展開し、近現代へとつながった。今回は、数え７年に１度の諏訪御柱祭の年にあたるので、諏訪信仰に関わる展示とした。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信濃一之宮と御柱祭	平成28年4月～29年3月	下諏訪社図、信濃国一宮諏方上社絵図、信州一之宮寅申御柱祭礼之行列、諏訪大社御柱祭騎馬行列古図之写、諏方御柱行例細見、上社古図、木曽街道塩尻峠諏訪湖眺望
祭りの人形芝居	平成28年4月～29年3月	黒田人形（三浦之助、佐々木高綱）、映像「黒田人形」
各地の諏訪信仰	平成28年4月～29年3月	善光寺・武井神社正迂宮御柱行烈図、御柱祭行列幌、小野大明神御柱人足、諏訪社氏子木札、諏方宮国土罪昆虫猪鹿災除祓、添翰・添状、回状・回文

近現代　世界につながる県民のくらし

中テーマ　　蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	平成28年4月～29年3月	筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、下問会議書類、説諭要略、信濃國合併布達、開智学校卒業証書（長野県管内）
お蚕さま	平成28年4月～29年3月	蚕の発育順序模型、まぶし折り器、生糸製糸組合奉納絵馬
世界につながる蚕糸業	平成28年4月～29年3月	座繰器、繭の枡、商標シルクラベル
近代の製糸工場	平成28年4月～29年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、女工募集告諭書、（六工社工女）『被雇契約証』
工女の生活	平成28年4月～29年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事

テーマ	展示期間	主な展示資料
近代の製糸工場（実物大環境復原）	平成28年4月～29年3月	ボイラー、水車、繰糸器

中テーマ　信州の民権と大正デモクラシー

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
教科書に見る戦前の教育	平成28年4月～29年3月	
信州教育	平成28年4月～29年3月	算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	平成28年4月～29年3月	双六、キューピー人形
戦前の観光信州	平成28年4月～29年3月	鳥瞰図『長野県の温泉と名勝』・『長野電鉄沿線温泉名所案内』（複製）

中テーマ　昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃をうけた。そこから抜け出すため県は十五年戦争のさなか、満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様ざまな戦争体験	平成 28 年 4 月～29 年 3 月	『満州更科郷のスケッチ』

中テーマ　地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。そして今県民は過疎過密問題や開発と環境との調和など新しい問題に直面している。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	平成28年4月～29年3月	真空管ラジオ、足踏み式ミシン、電話機、カラーテレビ、ナショナルホームラジオ、ナショナル電気こたつ、４号電話機、カメラ、腕時計

マルチメディア　「マルチメディア　長野県の歴史散歩」

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る　古代高速道・東山道　木曽式伐木運材図絵　犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞　楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示　歴史のこみち

中 テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	平成28年4月～29年3月	植栽
5000～ 6000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、 アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡
万葉の野	平成28年4月～29年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、そこの動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	平成28年4月～29年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

(3)　新規小テーマの概要

『天下分け目の戦と真田氏』

NHK 大河ドラマ放映に関連する特別展示「真田氏戦国乱世をかけめぐる」の第３期の展示。1600（慶長５）年の関ヶ原の戦いでは、石田方の西軍と家康方の東軍が国を二分して戦った。真田家では、真田昌幸・信繁父子は石田方（西軍）に、信繁の兄信之は徳川方（東軍）に分かれて就いた。その後の大坂の陣でも昌幸・信繁は豊臣方に味方し、1614（慶長 19）年の冬の陣では、「真田丸」と後によばれる陣地を築いて家康に挑んだ。翌元和元年の夏の陣では、信繁は家康を追い詰めたが討ち死。信之は家康側に属して勝利。こうして、徳川の世が続くことになる。

展示は、関ヶ原合戦と大坂の陣に分け、両合戦についての資料を並べた。前者は、布陣図と合戦の状況を記した書物、昌幸の活躍を記した『長国寺殿御事蹟稿』など。後者は、冬および夏の陣の図と信繁の活躍を記した『左衛門佐君伝記稿』。陣地「真田丸」については、パネルで説明。戦後、勝利側として真田家を継いだ信之について、御事蹟稿や発給した朱印状を展示した。

『上田から松代へ』

「真田氏戦国乱世をかけめぐる」の第４期の展示。時期は江戸時代。大坂の陣後、真田家を継いだ信之は、1622（元和８）年、幕府の命令により上田から松代へ移封となった。ここに真田松代藩が始まり、明治初めの廃藩置県まで真田家は松代藩主として存続した。この上田と松代での真田家の足跡を展示した。

上田の足跡は、上田藩主時代の信之画像と上田古城図、信之の御事蹟稿などを展示。松代の足跡は、信之と８代幸貫の藩主画像、松代城下町図、藩主らの御事蹟稿で示した。また、松代藩の庶民の様子を表すものとして、祭礼図を展示した。この内『松代祭礼絵巻』は、祭礼行列の様子が 17 メートルにわたって描かれた巻物だが、昨年度購入したので、今回初公開。

『真田三代』

「真田氏戦国乱世をかけめぐる」の最終第５期の展示。真田三代とは、真田幸隆、その子昌幸・信綱ら、孫の信繁・信之の三代。この三代は戦国乱世をかけめぐった真田一族だが、江戸時代から現代にかけて、この三代の活躍が、軍記物や読み物・錦絵に描かれ、講談で語られ、また、テレビドラマ・ゲームにもなって、人気を博し、現在に至っている。真田信繁をモデルに「幸村」の名が創られ、真田十勇士も登場するようになった。これらによって、「真田氏」の架空のイメージができあがっていった。

一方、幕末には真田家が正確な当家の記録をとどめようと、全 73 冊と附図 19 舗からなる真田家御事蹟稿を作成した。真田根元記や滋野世記などの史料を基にして、藩主や妻などの事蹟や系図などがまとめられている。

このような「真田氏」がイメージ化された資料と、真田家に伝えられた資料・真田家で作った資料の両者を展示した。

『信濃一之宮と御柱祭』

諏訪大社は、全国にある諏訪社の本社で、古代から信濃第一のお宮「信濃一之宮」として信仰されてきた。上社の本宮（諏訪市）と前宮（茅野市）、下社の春宮と秋宮（ともに下諏訪町）の４つのお宮から成る。この諏訪大社の代表的な大祭が御柱祭であり、今年は数えで７年に１度の御柱年。これに合わせて、当館所蔵の諏訪大社や御柱祭関係の史料を展示し、近世におけるそれらの様子を示した。

諏訪大社は広い境内を持ち、明治期の神仏分離が行われるまでは神宮寺も併設されていたが、当時の境内図で展示した。御柱祭は、江戸時代になると高島藩が諏訪地域の村むらに命じて執行した。御柱曳きには行列ができ、その行列を藩主らが見物する桟敷も作られたが、行列図や祭礼図、桟敷図で示した。

『各地の諏訪信仰』

諏訪信仰に関わる神社は、日本全国に１万社あると言われる。長野県内には、社名に諏訪神社・諏訪社が付く神社庁登録神社だけでも 300 社以上あるが、諏訪の祭神である建御名方神・八坂刀売神等を祀る神社を合わせると相当数にのぼる。諏訪信仰は、鎌倉時代以降、武士によって各地に勧請され、庶民にも広がった。各地に諏訪信仰に関わる近世の記録が残されているが、それらの史料を展示し、近世における各地の諏訪信仰の様子を示した。

諏訪大社では、御柱祭等の執行のために信濃国各地の役所や甲斐国に対して広く寄付を依頼し、それを受けた役所では、所管の町村に対してさらにその通達をしている。また、諏訪大社の御師が寄付のために各地を巡回して御札を配った。これらの資料のほか、県内各地の諏訪社の境内図や御柱祭執行の史料を展示した。

『様ざまな戦争体験』

アジア・太平洋戦争では、長野県民も様ざまな立場で戦争に関わった。動員された兵士をはじめ勤労動員・疎開者の受け入れ、生活の統制、空襲による被害など県民の多様な戦争体験を紹介した。

第１は、平成27年度夏季企画展で調査した長野県出身の特攻隊員について、陸軍・海軍別の戦死者をグラフで示し、特攻隊員の一例として上原良司に関連する資料を展示した。

第２は、婦人参政権運動の先駆者で終戦時に坂城町に疎開していた児玉勝子の日記。戦時中の不自由な生活、敗戦の衝撃や絶望感、復興に向けた決意などがリアルに記された日記である。

第３は、満洲大日向開拓団の逃避行の様子を綴った開拓団員大林作三・ツマ子夫妻の「終戦の記」。満洲で長野県出身の開拓団が迎えた終戦の様子を展示した。

第４は、1945 年８月 13 日の長野空襲の模様について、空襲に使用された弾丸・薬莢と被弾した卓袱台を展示した。また、空襲に備えた生活の様子として灯火管制覆を展示した。

2　企画展示等

●夏季企画展

「夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄路の軌跡ー」

平成28年7月9日(土)～8月28日(日)

（開催日数 45日間）

入場者数 4,192人

主催　長野県立歴史館

後援　信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、信州・市民新聞グループ（7紙）、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、信州ケーブルテレビジョン、INC長野ケーブルテレビ、テレビ松本、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

北陸新幹線の延伸や、リニア中央新幹線計画により、新たな高速鉄道網の整備が進んだ。

明治・大正時代、近代化をめざす日本と地域の期待を担ったのが鉄道であった。当時の最新技術を投入して急峻な山々や深い谷川に鉄路を敷設し、信州に鉄道網が広がった。これにより蚕糸業や林業の発展、観光振興に結びついた。

時代の流れとともに廃線となった鉄道の歴史をたどり、鉄道の敷設にかけた人びと、鉄道を利用した人びと、失われた鉄路を活かそうとする人びと、各々の夢の軌跡を紹介した。

〈展示構成〉

序　鉄道にかけた夢

Ⅰ　山岳地帯の難工事に挑む-近代日本の幹線鉄路建設-

1　信越線碓氷峠

2　篠ノ井線

Ⅱ　広がる鉄道網-私鉄の発達-

1　信濃鉄道と池田鉄道

2　上田丸子電鉄

Ⅲ　あこがれの高原列車-温泉・社寺参詣・観光へのいざない-

1　観光信州

2　草軽電気鉄道

3　布引電気鉄道

4　長野電鉄

5　善光寺白馬電鉄

6　筑摩電気鉄道　浅間線

Ⅳ　深山幽谷をゆく-木曽森林鉄道-

終章　失われた鉄路に見る未来への夢

〈主な展示資料〉

アプト式ラックレール、ドイツ製ラックレール、ＥＤ４０形機関車 1/45 模型、信越線碓氷第六拱橋之図、人間国宝濱田庄司　「峠の釜飯容器」、篠ノ井線古写真、中仙道鐵道敷設速成嘆願書、信濃鉄道敷設計画平面図、信濃鉄道線路平面図、金子常光「草津軽便鐵道沿線鳥瞰図」（原画）、「諏訪大観」「上田其附近名所図絵」、吉田初三郎「長野県の温泉と名勝」（原画）、「岡谷市鳥瞰図」、各種観光パンフレット

と鳥瞰図、丸子鉄道発起ノ趣意、草軽電気鉄道デキ 12 形電気機関車（1/10 模型）、善光寺白馬電鉄予定路線図、善光寺白馬電鉄線路実測平面図、善光寺白馬電鉄古写真、松本電気鉄道浅間線古写真、木曽森林鉄道古写真、タブレット授受柱、理髪車で利用された散髪道具

〈行事〉

（1）講演会

① 7月30日(土)　13：30～15：00

「信州の山と鉄道」

講師　小西純一氏（信州大学名誉教授）

参加者　184名

（2）講座

① 8月11日(土)　13：30～15：00

「信州に広がる鉄道の歴史」

講師　寺内隆夫（当館職員）

「鉄道建設の奇才 才賀藤吉と信濃鉄道」

講師　原明芳（当館職員）

「鳥瞰図にみる昭和戦前の観光と鉄道」

講師　林　誠（当館職員）

参加者数　73名

（3）イベント

① 7月18日（土）　13：30～15：00

「失われた鉄路上映会1　草軽電気鉄道」

「展示解説1　鳥瞰図を読み解く」

参加者　94名

②8月20日（土）　13：30～15：00

「失われた鉄路上映会2　木曽森林鉄道」

「展示解説2　鳥瞰図を読み解く」

参加者　67名

〈印刷物〉

ポスター　B2判 片面カラー 2,000部

チラシ A4判2P 両面カラー 20,000部

図録印刷　1,000冊

〈担当〉

総合情報課　原　明芳、寺内隆夫

林　誠

●秋季企画展

「文化の十字路　木曽の宝」

平成28年9月17日（土）～11月27日（日）（開催日数61日間）

入場者数 6,782人（企画展示室観覧者数）

（本企画展は常設展示室にも展示し、そちらのみの観覧者を含めると合計約9,000人）

主催　長野県立歴史館

後援　信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞社長野支局、市民タイムス、信州・市民新聞グループ（7紙）、長野市民新聞社、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、（一社）日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

長野県の西端に位置する木曽地域は、人や物が行き交う中で豊潤な文化

を育み、東西及び南北文化の交点として独自の地位を占めてきた。この地には幾度となく文化が花開き、戦後には空前の木曽路ブームも起きた。その様相は現存する史跡や資料からも垣間見ることができる。

本企画展では、おおまかな時代ごとのテーマを設定し、地域に伝わる第一級の文化財や工芸品などを展示することで、木曽の文化や特色に触れていただいた。

〈展示構成〉

第Ⅰ章　木曽のあけぼの
第Ⅱ章　古代・中世の木曽文化
第Ⅲ章　木曽の近世と信仰
第Ⅳ章　木曽馬
第Ⅴ章　現代に続く伝統工芸
第Ⅵ章　木曽と近代芸術

〈主な展示資料〉

柳又遺跡出土 角錐状石器・ナイフ形石器・槍先形尖頭器、崩越遺跡出土 土器、若宮遺跡出土 釣手土器、上の原遺跡墓壙出土 灰釉陶器・土師器、お玉の森遺跡出土 灰釉陶器段皿、大般若波羅蜜多経、鰐口、五鈷杵、三鈷杵、懸仏（御正体）、棟札、梅花双雀鏡、聖徳太子和朝先徳連坐影像、菩薩形立像聖観音菩薩立像、阿弥陀如来坐像、太刀、木曽義元像、常滑焼 甕、木曽義仲合戦図、 木曽谷中山川之図、山伏塚出土 錫杖・煙管、円空 十一面観音坐像、守屋貞治 地蔵菩薩坐像、渓斎英泉 岐阻街道奈良井宿名産店之図、歌川広重 木曽海道六拾九次之内福し満、信濃国木曽御嶽山全図、大坪流馬之図、角倉氏奉納絵馬（黒駒繋馬図）、鑑札、千村士乃武 親子馬、石井鶴三 木曽馬、お六櫛、畑中たみ 麻布、木曽堆朱座卓、巣山榮三 木曽堆朱二段重、小椋榮一 欅造黒柿象嵌盛器、島崎藤村『夜明け前』原稿、川村吾蔵 島崎藤村像、沢田正春写真 19 点

〈行事〉

（1）講演会

① 10 月 22 日（土）13:30～15:10
「木曽の宝」
講師　笹本　正治（当館館長）
参加者数　86 名

（2）講座

① 9 月 17 日（土）13:30～15:10
「縄文土器に見る交流関係」（考古学講座も兼ねる）
講師　寺内隆夫（当館職員）
参加者数　54 名

② 10 月 15 日（土）13:30～15:10
「トークセッション　ここまでわかった木曽の古代」
講師　原　明芳（当館職員）、福島正樹（当館職員）
参加者数　27 名

③ 11 月 12 日（土）13:30～15:10
「木曽馬の歴史」
講師　中川　剛 氏（木曽馬保存会）
参加者数　38 名

④ 11 月 19 日（土）13:30～15:10
「木曽路の開通と陶器の流れ」（考古学講座も兼ねる）
講師　原　明芳（当館職員）
参加者数　54 名

（3）イベント

① 9 月 24 日（土）10:00～16:00

内容 「木曽馬と遊ぼう」
出演 木曽馬「菜々号」（県天然記念物指定）
参加者 119名

② 10月10日（月・祝）13:30～14:30
内容: 「南木曽町田立の伝統芸能に親しもう」
出演 田立歌舞伎保存会、田立花馬祭り保存会
参加者 114名

③ 11月3日（木・祝）12:40～13:20
内容 「伝統芸能に触れる（森将軍塚古墳まつり連携イベント）」
出演 須原ばねそ保存会、大桑小学校6年生、開田高原民謡保存会、開田高原地域協議会、開田小学校6・2年生
参加者 野外ステージの発表につき集計せず（参考：当日の入館者1,741名）

④ 11月3日（木・祝）10:00～15:00
内容 木曽物産展
窓口 南木曽町教育委員会
参加者：集計せず

⑤ 11月12日（土）10:00～16:00
内容 「木曽馬と遊ぼう」
出演 木曽馬「空号」
参加者 136名

⑥ 11月13日（日）10:00～16:00
内容 「木曽馬と遊ぼう」
出演 木曽馬「空号」
参加者 136名

（4）ギャラリートーク

① 9月17日（土）15:20～15:50
土器編 参加者 34名

② 9月24日（土）13:30～14:00
石器編 参加者 24名

③ 10月1日（土）13:30～14:00
仏像編 参加者 10名

④ 10月15日（土）15:20～15:50
中世編 参加者 14名

⑤ 10月22日（土）15:20～15:50
館長編 参加者 40名

⑥ 11月13日（日）13:30～14:00
木曽馬編 参加者 16名

⑦ 11月19日（土）15:20～15:50
古代編 参加者 30名

⑧ 11月26日（土）15:20～15:50
近世美術編 参加者 9名

〈印刷物〉
ポスター印刷、チラシ印刷（通常チラシ、イベント用、伝統芸能発表用）、看板（エントランス用、野立て看板用）、図録

〈担当〉
総合情報課 原 明芳、市川 厚
林 誠、山田直志

●冬季展

「信濃国の城と城下町～発掘調査が謎を解く～」
平成28年12月17日（土）～平成29年2月26日（日）（開催日数 55日間）
入場者数 2,927人
主催 長野県立歴史館
共催 長野市教育委員会、松本市教育委員会、上田市教育委員会、飯田市教育委員会、諏訪市教育委員会、小諸市教育委員会、伊那市教育委員会、飯山市教育委員会、佐久市教育委員会、長野県埋蔵文化財センター、長野県教育委員会

後援　信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、信州・市民新聞グループ（7紙）、長野日報社、南信州新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、（一社）日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、FM 長野、FM ぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

長野県内にある江戸時代の城郭や城下町は、その多くが街づくりのシンボルとなっている。加えて現在は「城ブーム」で県民の関心も高い。

近年、市町村教育委員会などによる近世城郭や城下町遺跡の発掘事例が相次ぎ、そこからは、文献に記されない城郭・城下町の姿が徐々に明らかになってきている。

県内市町村教育委員会の協力を得て、これらの出土品を一同に展示し、江戸時代における県内城郭・城下町発掘調査の最新の成果を知ってもらうとともに、県全体の城・城下町に対する理解を高めてもらうことを展示主旨とした。

当館では、この企画展に先立ち、平成26年度より市町村教育委員会と「長野県近世城郭城下町研究会」を立ち上げ、3年間にわたり、発掘現場の現地検討会や事例発表、出土資料研究などの活動を行ってきた。この企画展は、この研究活動の成果発表の場ともなった。

〈展示構成〉

Ⅰ 信濃国の近世城郭のはじまり
　信濃国の金箔瓦
Ⅱ 信濃国の城と城下町
　これが城郭城下町発掘だ　松本城
　真田氏時代の館跡　上田城
　徳川家康包囲網の城　小諸城
　城内の人びとのくらし　飯山城
　城内に水を引く　高遠城
　温泉がある城　高島城
　茶文化さかえる城下町　飯田城
　火事におそわれた城・城下町　松代城
　幕末に築かれた城　藤ヶ城
　龍岡城
Ⅲ 城下町のくらし
　城下町と陶磁器
　　土岐市元屋敷窯志野・織部
　　中馬街道と窯跡
　城下町と水
　　松本城下町出土水道施設
　松代城太鼓門前橋の発掘調査
Ⅳ 絵図でみる信濃国の城と城下町
　各城郭・城下町絵図をパネル展示
　（旧映像情報室）
Ⅴ 市町村による城郭・城下町発掘調査
　　発掘調査写真パネル展示
　（企画展示室前）

〈主な展示資料〉

Ⅰ 信濃国の金箔瓦
　松本・上田・小諸城出土金箔瓦
　甲府城跡出土金箔瓦
Ⅱ 信濃国の城と城下町
　松本城 家紋入軒丸瓦、陶磁器類、刀装具、茶道具、碁石、七夕人形、

砥石、分銅など上田城：かわらけ、白紙、内耳鍋など
小諸城 鬼瓦、鯱瓦、軒丸瓦など
飯山城 食器類、灯明皿、鳩笛など
高遠城 土管、高遠焼急須など
高島城 引湯木管、陶磁器類など
飯田城 茶道具、茶臼、砥石など
松代城 被災瓦、陶磁器類、刀装具など
藤ヶ城 瓦類
龍岡城 瓦類、陶器

Ⅲ 城下町のくらし
城下町出土陶磁器の比較
松本・飯田城下町 瀬戸・美濃産陶器
松代・飯山城下町 肥前産陶磁器
土岐市国史跡元屋敷陶器窯跡出土志野・織部焼（重要文化財含む）
松本城下町出土 水道木管、集水枡など
松代城太鼓門前橋橋脚

〈行事〉
（1）講演会
① 12月23日(金・祝) 13：30～15：00
「戦国期における信濃国の城と城下町」
講師 当館 笹本正治館長
参加者 214名
（2）関連講座
①1月14日(土) 13：30～15：00
「上田城跡の発掘調査について」
上田市教育委員会 和根崎剛氏
「甲府城跡の発掘調査と金箔瓦」
山梨県立考古博物館 小林健二氏
参加者 82名
② 1月28日(土) 13：30～15：00
「松本城跡・城下町の発掘調査について」
松本市美術館 竹内靖長氏
「松代城下町跡の発掘調査について」
長野市埋蔵文化財センター 田中暁穂氏
トークイベント「松本・松代ここが違う」
講師2名、当館 原明芳総合情報課長
参加者 154名
③ 2月11日(土) 13：30～15：00
「飯田城下町遺跡の発掘調査について」
飯田市教育委員会 馬場保之氏
「国史跡元屋敷陶器窯跡と美濃桃山陶」
土岐市美濃陶磁歴史館 春日美海氏
参加者 92名

〈印刷物〉
ポスター B2判 表カラー 2,200部
チラシ A4判×2ページ(表裏) 22,000部
リーフレット A3判カラー二つ折り 5,000部
図録 A4判カラー 80P 1,000部

〈担当〉
考古資料課 大竹憲昭 遠藤公洋
総合情報課 原 明芳
文献史料課 中野亮一

●巡回企画展
「長野県の遺跡発掘2016」
《歴史館会場》
平成28年3月12日（土） ～6日26日（日）（開催日数 95日間）

入場者数　18,438 人

主催　長野県立歴史館・長野県伊那文化会館・安曇野市郷土博物館・長野県教育委員会

共催　長野県埋蔵文化財センター・長野県・伊那市・伊那市教育委員会・安曇野市教育委員会

後援　佐久市・佐久市教育委員会・信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・信州・市民新聞グループ（7紙）・長野日報社・南信州新聞社・NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、（一社）日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、信州ケーブルテレビジョン、INC 長野ケーブルテレビ、テレビ松本、FM 長野、FM ぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

今回の展示会では、長野県内で長野県埋蔵文化財センター及び市町村教育委員会が、主として平成 27 (2015) 年度に発掘調査を行った遺跡や報告書が刊行された遺跡の資料に加えて、「土偶」をテーマとした展示を行った。

〈展示した主な遺跡〉

1　長野県埋蔵文化財センター調査遺跡

ひんご遺跡（栄村）、浅川扇状地遺跡群（三輪）（桐原）・塩崎遺跡群（長野市）、尾垂遺跡（佐久市）

2　市町村教育委員会調査遺跡

寺ノ浦石器時代住居跡（小諸市）、長野女子高校校庭遺跡（長野市）、大豆田遺跡Ⅳ（佐久市）、別府中島遺跡（飯田市）、明科遺跡群明科廃寺（安曇野市）

3　テーマ展示「土偶」

平出遺跡（塩尻市）、千田遺跡（中野市）、エリ穴遺跡（松本市）、月夜平遺跡（佐久市）

〈主な展示資料〉

長野市長野女子高校校庭遺跡の弥生時代後期の住居跡からまとまって出土した北陸系土器、長野市浅川扇状地遺跡群（三輪）から出土した高杯や飯田市別府中島遺跡から出土した東海系土器、明科廃寺から出土した軒丸瓦、富士見町坂上遺跡出土土偶（重要文化財）や、ひんご遺跡、平出遺跡、エリ穴遺跡、千田遺跡、月夜平遺跡出土の土偶等

〈行事〉

（1）講演会・遺跡報告会

①　4 月 23 日（土）13:30～15:40

講演会

「土偶ってなんだろう？」

講師　三上徹也氏（長野県考古学会員）

遺跡報告会

「長野女子高校校庭遺跡」

講師：飯島哲也氏（長野市埋蔵文化財センター）

「ひんご遺跡」

講師　谷　和隆（長野県埋蔵文化財センター）

聴講者 126 名

〈印刷物〉（各会場共通）

ポスター　B 2 判、表カラー2,700 部

チラシＡ４４判、カラー35,000部

〈担当〉

考古資料課　大竹　憲昭

中野　亮一

総合情報課　西山　克己

《伊那会場》

平成28年7月9日(土)～8月21日(日)

(開催日数 37日間)

入場者　1,202人

〈行事〉

(1) 伊那文こどもまつり（埋文体験教室）

8月21日（日）10：00～15：00

まが玉づくり、縄文人になろう

参加者　542名

《安曇野会場》

平成28年9月3日（土）～

10月16日(日)　(開催日数 38日間)

入場者　2,577人

〈行事〉

(1) 講演会＆トーク

9月10日（日）13:30～15:00

講演会

「北村遺跡人はどのような人々だったか」

講師：茂原信生氏（京都大学名誉教授）

トーク

茂原信生氏

平林　彰氏（長野県埋蔵文化財センター調査部長）

聴講者：59名

(2) 遺跡報告会

10月1日（土）13:30～15:00

明科遺跡群明科廃寺

安曇野市教育委員会　大澤　慶啓氏

エリ穴遺跡

松本市市教育委員会　百瀬　長秀氏

参加者　69名

《佐久会場》

平成28年10月29日（土）～11月13日(日)　(開催日数 12日間)

入場者　1,044人

● 平成28年長野県立歴史館巡回展

「長野県の遺跡発掘2017」

《歴史館会場》

平成29年3月 18日（土）～3月31日（金）(年度内開催日数 12日間)

(展示の最終日は平成 29 年6日 25 日（日）)

入場者数　973人（3月末時点）

主催　長野県立歴史館・長野県伊那文化会館・安曇野市郷土博物館・浅間縄文ミュージアム・長野県教育委員会

共催　長野県埋蔵文化財センター・長野県・伊那市・伊那市教育委員会・安曇野市教育委員会

後援　信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・信州・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、（一社）日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、信州ケーブルテレビジョン、INC 長野ケーブ

ルテレビ、テレビ松本、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

今回の展示会は、平成28年度に長野県埋蔵文化財センターが発掘調査をした資料と、市町村教育委員会が保管しながら、なかなか多くの県民の皆様の目に触れることのない資料を展示した。またテーマ展示として、「黒曜石」の展示コーナーを設置した。

〈展示した主な遺跡〉

1　長野県埋蔵文化財センター調査遺跡

ひんご遺跡（栄村）、小島・柳原遺跡群（長野市）、山鳥場遺跡（朝日村）川原遺跡（飯田市）

2　市町村教育委員会保管遺跡

安源寺城跡1号墳丘墓（中野市）、史跡大室古墳群（大室谷支群）（長野市）、塚穴古墳（青木村）、柏木古墳（松本市）、永明寺山古墳（茅野市）伴野原遺跡（豊丘村）、中手田遺跡（豊丘村）

3　テーマ展示「黒曜石」

広原Ⅱ遺跡（長和町）、史跡星糞峠黒曜石原産地遺跡（長和町）、星ヶ台遺跡（下諏訪町）、史跡星ヶ塔黒曜石原産地遺跡（下諏訪町）、力石遺跡群（千曲市）、箕輪遺跡（箕輪町）

〈主な展示資料〉

ひんご遺跡出土火焔型土器や王冠型土器、安源寺城跡1号墳丘墓出土北陸系土器・東海系土器、小島・柳原遺跡群出土塔鋺形合子、大室古墳群出土馬形土製品、塚穴古墳、柏木古墳、永明寺山古墳出土象嵌装大刀、広原Ⅱ遺跡、史跡星糞峠黒曜石原産地遺跡、星ヶ台遺跡、史跡星ヶ塔黒曜石原産地遺跡、力石遺跡群、箕輪遺跡出土黒曜石

〈印刷物〉（各会場共通）

ポスター　B2判、表カラー2,700部

チラシ A4判、カラー32,000部

〈担当〉

考古資料課　大竹　憲昭

西山　克己

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

（1）学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/8	金	9:00-11:30	屋代高校附属中学校1年生	2	80	5	○	見学	考古バックヤード処理室等も見学
4/12	火	9:00-10:30	長野市立加茂小学校6年生	2	46	2	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立屋代小学校6年生	3	77	4	○	探検	
4/14	木	10:30-12:20	中野市立平野小学校6年生	3	76	4	○	探検	
4/17	日	13:50-16:15	駒澤大学文学部歴史学科	5	225	21		見学	遺物収蔵庫・文献書庫見学
4/21	木	12:30-14:00	木祖村立木祖中学校2年生	1	15	3	○	探検	
4/22	金	9:00-10:30	長野市立塩崎小学校6年生	2	56	3	○	探検	
		10:30-12:00	信濃町立信濃小中学校6年生	2	45	4	○	探検	
4/26	火	9:00-10:30	松本市立田川小学校6年生	1	34	2	○	探検	
		10:30-11:30	千曲市立埴生小学校6年生	4	115	4	○		
		10:30-13:30	長野市立篠ノ井西小学校6年生	5	151	7	○	探検	
		13:30-14:30	信大教育学部附属長野小学校6年生	2	79	3			
4/27	水	9:00-10:00	麻績村立麻績小学校6年生	1	17	3	○		
		10:30-12:00	上田市立塩尻小学校6年生	1	25	2	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立昭和小学校6年生	4	132	6	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立山王小学校6年生	1	32	3	○		
4/28	木	9:00-10:30	長野市立古里小学校6年生	4	110	5	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立明南小学校6年生	2	47	3	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立神科小学校6年生	4	136	5	○		
		12:00-13:30	坂城町立南条小学校6年生	2	59	3	○	探検	
		12:00-13:00	長野市立綿内小学校6年生	3	72	4	○		
		13:30-15:00	長野市立大豆島小学校6年生	4	131	5	○		
5/2	月	9:30-11:30	上田高等学校2年生	1	39	2	○	見学	
		9:00-10:00	長和町立和田小学校6年生	1	21	3	○		
		9:00-10:30	佐久市立泉小学校6年生	2	61	4	○		
		10:30-12:00	小諸市立水明小学校6年生	2	54	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立徳間小学校6年生	4	110	6	○		
		12:00-13:30	長野市立城山小学校6年生	3	74	4	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立川田小学校6年生	1	25	2	○		2校合同
		12:00-13:30	長野市立保科小学校6年生	1	14	2	○		
		13:30-15:00	池田町立池田小学校6年生	1	32	3	○	探検	
		13:30-15:00	佐久市立野沢小学校6年生	4	116	5	○		
		13:30-15:00	長野市立信里小学校6年生	2	22	4	○	探検	
5/6	金	9:00-10:30	上田市立川辺小学校6年生	3	97	4	○	探検	
		9:00-10:30	豊科高等学校1年生	6	237	12			
		10:30-12:00	中野市立延徳小学校6年生	2	35	4	○	探検	
5/10	火	9:00-10:30	小布施町立栗ガ丘小学校6年生	4	122	5	○	探検	
		9:00-10:30	上田市立北小学校6年生	3	80	4	○		
		10:30-11:30	練馬区立立野小学校6年生	2	74	7	○		
		10:30-11:45	須坂市立須坂小学校6年生	2	29	2	○		須坂小支援学校と2校合同

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/10	火	10:30-11:45	須坂市立須坂支援学校6年生	1	4	2	○		須坂小と2校合同
		10:30-12:00	長野市立鍋屋田小学校6年生	1	34	3	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立本原小学校6年生	2	53	3	○		
		12:00-13:30	長野市立長沼小学校6年生	1	14	2	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立篠ノ井東小学校6年生	2	70	3	○		
5/11	水	9:00-10:30	上田市立川西小学校6年生	2	40	3	○	探検	
		9:15-10:15	稲荷山保育園	1	24	3			
		13:00-14:30	長野市立若槻小学校6年生	3	78	6	○	探検	
5/12	木	9:00-10:30	長野市立松代小学校6年生	2	61	4	○	探検	
		9:00-10:30	須坂市立豊丘小学校6年生	1	16	2	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立長小学校6年生	1	17	2	○	探検	
		12:00-13:30	千曲市立治田小学校6年生	2	58	2	○	探検	
5/13	金	9:00-10:30	池田町立会染小学校6年生	2	37	3	○	探検	
		9:00-10:30	長野市立古牧小学校6年生	4	113	6	○		
		10:30-12:00	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	4	124	6	○	探検	
		10:30-12:30	長野市立芹田小学校6年生	4	121	6	○		
		12:00-13:30	上田市立中塩田小学校6年生	3	95	4	○		
		12:00-13:30	長野市松ヶ丘小学校6年生	2	67	4			
		13:30-15:00	上田市立東塩田小学校6年生	2	51	3	○		
5/15	日	13:30-15:00	大田区大森東小学校6年生	1	24	3	○	探検	
		13:10-15:00	大田区立嶺町小学校6年生	4	123	10	○		
5/17	火	9:20-10:30	千曲市立埴生保育園	2	35		○		
		9:40-10:30	千曲市立あんず保育園	1	33	6			
		10:30-12:00	高山村立高山小学校6年生	2	64	3	○	探検	
5/18	水	9:00-10:30	松本市立島立小学校6年生	2	67	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立東条小学校6年生	2	38	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立大岡小学校6年生	1	9	1	○	探検	
		13:30-15:00	練馬区立豊玉東小学校6年生	2	44	8	○	探検	
		13:30-15:00	練馬区立豊玉南小学校6年生	2	75	8	○	探検	
5/19	木	9:00-10:25	小諸市立美南ガ丘小学校6年生	4	110	5	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立岩村田小学校6年生	3	106	6	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立吉田小学校6年生	4	111	5	○		
5/20	金	9:00-10:30	中野市立中野小学校6年生	4	151	11	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立東小学校6年生	3	102	6	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立高瀬小学校6年生	2	38	3	○		
		13:30-15:00	北相木村立北相木小学校6年生	1	12	3	○		2校合同
		13:30-15:00	南相木村立南相木小学校6年生	1	13	1	○		
5/24	火	10:30-12:00	大町市立大町東小学校6年生	2	43	2	○	探検	
		12:00-13:30	小諸市立千曲小学校6年生	1	19	2	○	探検	
		14:00-15:30	長野大学環境ツーリズム学部市川ゼミ	1	20	1	○	見学	
5/25	水	10:30-12:00	坂城町立坂城小学校6年生	2	48	3	○	探検	
		11:25-12:10	南長野幼稚園	1	78	7			
		12:00-13:30	木島平村立木島平小学校6年生	2	37	2	○		
		12:00-13:20	佐久市立切原小学校6年生	1	13	3	○	探検	
		13:30-15:15	上田市立清明小学校6年生	2	60	3	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/25	水	14:00-16:30	長野大学	1	30	1	○	見学	
5/26	木	9:00-10:30	青木村立青木小学校6年生	1	34		○	探検	
		9:00-12:50	安曇野市立穂高北小学校 6年生	4	122	6	○		
		10:30-12:00	練馬区立石神井東小学校6年生	2	52	7	○	探検	
		10:30-12:00	中野区立新山小学校6年生	1	29	3	○		
		12:00-13:30	佐久市立佐久平浅間小学校6年生	3	83	4	○	探検	
		12:00-13:30	練馬区立八坂小学校6年生	2	66	7	○		
		13:30-15:00	佐久市立岸野小学校6年生	1	32	2	○	探検	
5/27	金	9:00-10:30	山形村立山形小学校6年生	3	83	6	○	探検	
		10:30-12:00	白馬村立白馬北小学校6年生	2	54	4	○	探検	
		10:30-12:00	松本盲学校中学部	3	5	7	○	探検	
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年生	3	88	4	○	探検	
		13:30-15:00	大町市立大町南小学校6年生	2	48	4	○	探検	
		14:15-15:15	大田区立東調布第一小学校6年生	3	109	8	○		
5/28	土	10:30-12:00	大田区立清水窪小学校6年生	1	34	4	○	探検	
5/29	日	13:30-15:00	大田区立田園調布小学校6年生	4	135	12	○		
5/31	火	9:00-10:30	長野市立豊野東小学校6年生	1	32	2	○	探検	
		10:30-12:00	小諸市立東小学校6年生	2	57	2	○		
6/1	水	10:30-12:00	長野市立通明小学校6年生	3	107	5	○	探検	
		11:00-12:00	練馬区立仲町小学校6年生	4	122	11	○		
		14:00-16:30	長野大学	1	29	1	○	見学	
6/2	木	10:30-12:00	練馬区立開進第三小学校6年生	3	103	9	○	探検	
		12:00-13:30	大田区立山王小学校6年生	3	101	8	○	探検	
		13:30-15:00	中野区立西中野小学校5・6年生	2	65	8	○	探検	
		13:30-15:00	白馬村立白馬南小学校6年生	1	21	2	○	探検	
6/3	金	9:00-10:30	上田市立丸子中央小学校6年生	3	84	4	○	探検	
		10:30-13:30	長野市立三本柳小学校6年生	4	136	5	○	探検	
		12:45-14:10	安曇野市立豊科南小学校6年生	4	125	5	○		
6/7	火	10:30-12:00	飯綱町立牟礼東小学校6年生	2	41	2	○	探検	
		12:00-13:30	中野市立高丘小学校6年生	1	35	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立糀谷小学校6年生	3	96	9	○	探検	
6/8	水	9:00-10:30	長野市立浅川小学校6年生	2	72	3	○	探検	
6/9	木	9:00-10:30	松本市立芳川小学校6年生	4	121	6	○	探検	
		10:30-12:00	須坂市立井上小学校6年生	2	45	3	○	探検	
		10:30-12:00	練馬区立関町小学校6年生	3	109	9	○		
		12:00-13:30	長野市立下氷鉋小学校6年生	4	110	6	○		
		13:30-15:00	松本市立菅野小学校6年生	3	98	5	○	探検	
6/10	金	9:15-11:45	安曇野市立三郷小学校6年生	5	172	10	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立川中島小学校6年生	3	101	3	○	探検	
		13:30-14:50	須坂市立森上小学校6年生	2	51	2	○		
		11:00-12:00	頴明館中学校1年生	5	199	10			
6/12	日	12:45-14:15	大田区立西六郷小学校6年生	2	59	6	○	探検	
		13:10-14:10	大田区立馬込第三小学校6年生	3	93	8	○		
6/14	火	9:00-10:30	安曇野市立豊科東小学校6年生	1	35	2	○	探検	
		9:00-10:30	飯綱町立三水第一小学校6年生	1	30	2	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
6/15	水	10:30-11:30	中野区立武蔵台小学校５年生	2	76	7	○		
		12:20-13:30	中野区立啓明小学校6年生	2	45	7	○	探検	
6/16	木	9:00-10:30	小川村立小川小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		10:30-12:00	山ノ内町立東小学校6年生	2	43	3	○	探検	
6/17	金	9:50-11:20	上田市立城下小学校6年生	2	72	3	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立豊井小学校6年生	1	13	2	○	探検	
		12:00-13:30	大田区立入新井第二小学校6年生	3	94	8	○	探検	
		14:00-15:30	駒ヶ根市立赤穂南小学校4年生	2	69	6	○		
6/19	日	12:30-14:00	大田区立馬込第二小学校6年生	2	74	8	○	探検	
6/21	火	9:00-10:30	塩尻市立桔梗小学校6年生	4	114	6	○	探検	
6/22	水	13:30-15:00	須坂市立日滝小学校6年生	2	47	2	○	探検	
6/23	木	9:00-10:30	須坂市立小山小学校6年生	2	53	2	○	探検	
		9:00-10:30	千曲市立東小学校6年生	2	68	3	○		
		10:30-12:30	練馬区立大泉第六小学校5年生	2	74	9	○	探検	
		12:00-13:30	練馬区立光が丘春の風小学校6年生	2	68	7	○	探検	
6/24	金	9:00-10:30	松本市立鎌田小学校6年生	5	142	7	○	探検	
		12:30-14:00	松本市立波田小学校6年生	5	144	7	○		
6/26	日	12:00-14:00	大田区矢口西小学校6年生	4	154	11	○	探検	
6/28	火	11:00-12:00	辰野町立辰野東小学校6年生	2	53	5	○		
		12:00-13:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	24	2	○	探検	
		13:30-15:00	諏訪市立四賀小学校4年生	2	63	3	○	探検	
6/29	水	9:45-11:00	稲荷山養護学校中学部2年生	1	3	5	○		
		10:50-14:00	中野区中野神明小学校5年生・6年生	4	128	9	○	探検	
6/30	木	10:15-11:15	練馬区中村西小学校6年生	2	63	8	○		
		10:30-12:00	松本市立山辺小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		12:00-13:30	練馬区立早宮小学校6年生	3	81	11	○	探検	
7/1	金	9:30-11:00	山ノ内町立北小学校6年生	1	4	1	○	探検	２校合同
		9:30-11:00	山ノ内町立西小学校6年生	1	27	2	○	探検	
		12:15-13:30	小諸市立坂の上小学校6年生	2	64	3	○		
		13:30-15:00	山ノ内町立南小学校6年生	1	17	2	○	探検	
7/2	土	10:00-12:00	大田区立池雪小学校6年生	4	145	11			
7/5	火	9:00-10:30	伊那市立長谷小学校6年生	1	16	3	○	探検	
		9:00-10:30	安曇野市立穂高西小学校6年生	2	66	3	○	探検	
		10:00-13:30	大田区立梅田小学校6年生	3	131	11	○		
		10:30-12:00	小谷村立小谷小学校6年生	1	17	2	○	探検	
		13:00-14:30	安曇野市立明北小学校6年生	1	19	2	○	探検	
7/6	水	9:00-10:30	上越市立高志小学校6年生	3	90	6	○	探検	
		10:30-12:00	小海町立小海小学校6年生	1	32	3	○	探検	
		13:30-15:30	東御市立滋野小学校6年生	2	45	3	○	探検	
7/7	木	10:30-12:00	千曲市立戸倉小学校6年生	2	64	3	○	探検	
		14:00-15:30	上田市立塩田中学校2年生	6	208	12			
7/8	金	9:00-10:30	東御市立和小学校6年生	2	69	4	○	探検	
		10:30-11:50	千曲市立五加小学校6年生	2	63	4	○		
		10:30-12:00	上田市立神川小学校6年生	3	84	4	○		
		12:30-14:10	松本市立安曇小学校6年生	1	6	2	○	探検	大野川小と２校合同
	金	12:30-14:10	松本市立大野川小学校6年生	1	1	1	○	探検	安曇小と２校合同
7/12	火	9:00-10:30	上田市立西小学校6年生	2	72	4	○	探検	
7/13	水	10:30-12:00	安曇野市立豊科北小学校6年生	3	88	4	○	探検	
		12:00-13:30	佐久穂町立佐久穂小学校6年生	2	70	4	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
7/14	木	9:30-12:30	埼玉大学教育学部附属中学校2年生	1	17	1	○	見学	個人テーマ学習支援
		13:30-14:40	中野区立鷺宮小学校５年生	2	49	7	○	探検	
7/15	金	9:00-10:30	軽井沢町立軽井沢西部小学校6年生	2	46	3	○	探検	
		10:00-12:00	大町市立美麻小学校6年生	1	9	2	○		
		10:30-12:20	松本市立島内小学校6年生	3	97	4	○	探検	
		10:30-13:30	長野県稲荷山養護学校4年生	1	15	16			
		12:00-13:30	立科町立立科小学校6年生	2	63	5	○	探検	
		13:00-14:30	大町市立大町北小学校6年生	2	67	3	○	探検	
		14:25-15:10	高森町立高森南小学校4年生	4	111	6	○		
7/22	金	12:00-13:30	上田市立塩田西小学校6年生	2	47	3	○	探検	
8/4	木	9:00-11:30	和洋女子大	1	38		○	見学	遺物収蔵庫・文献書庫見学
8/31	水	9:20-10:30	飯山市立常盤小学校6年生	1	16	3	○		
		9:20-10:15	岡谷市立岡谷田中小学校6年生	2	64	4	○		
		10:30-11:30	岡谷市立上の原小学校6年生	2	41	4	○		
		13:20-14:00	諏訪市立城北小学校6年生	1	25	3			
		13:30-14:30	佐久市立東小学校6年生	2	60	6			
		13:30-14:30	佐久市立中込小学校6年生	2	63	4			
		13:35-14:35	上田市立菅平小学校6年生	1	7	2			
		14:10-15:15	飯山市立東小学校6年生	1	11	2			２校合同
		14:10-15:15	飯山市立木島小学校6年生	1	19	4			
		14:35-15:10	上田市立傍陽小学校6年生	1	15	2			
		14:40-16:00	川上村立川上第二小学校6年生	1	13	3			
		15:00-15:45	東御市立祢津小学校6年生	2	48	4	○		
		15:00-16:10	岡谷市立川岸小学校6年生	2	66	3	○		
		15:00-15:50	中野市立永田小学校6年生	1	12	2	○		
9/4	木	13:30-15:00	大田区立馬込小学校6年生	3	84	8	○	探検	
9/6	火	9:00-10:30	上田市立浦里小学校6年生	1	11	3	○	探検	
		9:00-10:10	伊那市立高遠小学校4年生	2	39	5			
9/7	水	9:00-10:30	中野市立倭小学校6年生	1	9	2	○	探検	
		9:00-10:30	中野市立平岡小学校6年生	1	30	2	○	探検	
		12:30-14:00	中野区立上高田小学校6年生	1	34	4	○	探検	
9/8	木	10:30-11:30	大田区立入新井第一小学校6年生	3	91	9	○		
9/13	火	12:45-14:10	大田区立大森第一小学校6年生	3	85	9			
9/18	日	12:00-13:30	大田区立東蒲小学校6年生	1	34	5	○	探検	
9/21	水	9:30-11:30	長野市立裾花小学校6年生	4	113	5	○	探検	
		9:30-11:30	長野市立象山保育園	3	55	8			
		12:30-14:10	長野市立城東小学校・長野ろう学校6年生	2	73	5	○	探検	２校合同
9/22	木	13:30-14:30	大田区立羽田小学校6年生	2	44	6			
9/23	金	11:00-13:30	木曽町立三岳小学校5・6年生	1	16	6	○	探検	
		14:30-15:20	千曲市立東小アプリコットタイム6年生	1	31	2	○		常設展見学
9/25	日	12:50-14:30	大田区立池上小学校6年生	3	85	9	○	探検	
9/27	火	14:00-15:30	大田区立池上第二小学校6年生	2	63	6	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
9/29	木	9:00-10:30	生坂村立生坂小学校6年生	1	9	2	○	探検	
		9:25-10:55	大田区立南六郷小学校6年生	2	62	6	○		
		10:10-11:40	練馬区立富士見台小学校6年生	3	112	9	○	探検	
		12:30-14:00	中野市立長丘小学校5・6年生	2	23	3	○	探検	
		12:30-14:10	長野市立南部小学校6年生	3	94	5	○		
9/30	金	10:30-12:00	長野市立寺尾小学校6年生	1	21	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野県白馬高等学校3年生	1	17	1	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立安茂里小学校6年生	2	55	3	○	探検	
		13:00-14:00	みんなの学校（フリースクール）	1	10	4	○		
		13:30-15:00	大町市立大町西小学校6年生	2	51	2	○	探検	
		14:00-15:30	大田区立大森第三小学校6年生	2	76	6	○	探検	
10/2	日	13:00-14:30	大田区立六郷小学校6年生	2	58	6	○	探検	
10/4	火	9:00-10:10	長野市立湯谷小学校6年生	3	85	3	○		
		10:30-12:00	須坂市立高甫小学校6年生	1	30	2	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立浅科小学校6年生	2	43	3	○		
10/5	水	9:00-10:30	上田市立西内小学校6年生	1	7	1	○	探検	
		10:30-12:00	塩尻市立宗賀小学校6年生	2	36	2	○	探検	
10/6	木	9:45-12:45	練馬区立大泉北小学校6年生	4	103	9	○	探検	
		13:30-14:40	大田区立大森第四小学校6年生	3	106	9	○		
		14:30-15:20	千曲市立東小アプリコットタイム	1	31	2		探検	バックヤード探検
10/7	金	10:00-11:30	大田区立相生小学校6年生	1	35	5	○	探検	
		10:30-12:00	屋代南高校　被服科　1年生	1	18	1	○		
10/9	日	12:30-14:00	大田区立入新井第五小学校6年生	2	60	7	○	探検	
10/12	水	9:00-10:30	佐久市立臼田小学校6年生	2	40	3	○	探検	
10/13	木	11:40-14:35	飯田市立高陵中学校２年生	5	152	11	○		
10/14	金	10:30-12:00	大田区立都南小学校6年生	2	41	7	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立戸隠小学校6年生	1	18	2	○	探検	
10/15	土	9:50-10:50	大田区立開桜小学校6年生	3	100	9	○		
10/20	木	13:30-15:00	千曲市立八幡小学校6年生	2	42	3	○	探検	
		13:30-14:50	大田区立東調布第三小学校6年生	2	60	7	○		
10/21	金	10:30-12:00	筑北村立坂井小学校6年生	1	12	2	○	探検	
		12:00-13:30	大田区立多摩川小学校6年生	3	94	8	○	探検	
10/26	水	10:30-12:00	佐久市立平根小学校6年生	1	31	3	○	探検	
10/27	木	10:30-12:00	練馬区中村小学校6年生	4	141	10	○		
11/1	火	9:00-10:30	上田市立武石小学校6年生	1	27	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野盲学校6年生	1	1	1	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立上山田小学校6年生	2	42	3	○	探検	
		12:00-13:50	長野市立三輪小学校6年生	2	54	4	○	探検	
11/2	水	11:30-12:30	松本市立開明小学校6年生	4	121	7	○		
		13:20-15:00	上田市立南小学校6年生	4	110	5	○	探検	
11/9	水	13:55-15:30	安曇野市立穂高南小学校6年生	3	102	5	○	探検	
11/10	木	10:00-11:00	稲荷山幼稚園	1	32	3			
		10:30-12:00	御代田町立御代田南小学校6年生	3	98	4	○	探検	
		12:30-14:00	飯山市立飯山小学校6年生	3	74	4	○	探検	
11/11	金	10:50-12:00	須坂市立仁礼小学校6年生	2	43	3	○		

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
11/16	水	9:00-10:30	信大教育学部附属松本小学校6年生	2	75	4	○	探検	
11/18	金	9:00-10:30	千曲市立更級小学校6年生	1	27	5	○	探検	
		10:15-11:35	野沢南高校1年生	5	199	10	○		
11/22	火	9:00-10:30	御代田町立御代田北小学校6年生	2	69	2	○		
11/25	金	9:00-10:30	松本市立二子小学校6年生	2	37	3	○	探検	
11/25	金	12:00-13:30	長野市立共和小学校6年生	2	56	2	○	探検	
12/1	木	9:00-10:30	須坂市立日野小学校6年生	2	49	5	○	探検	
12/6	火	10:00-12:00	長野市立芋井小学校4年生	1	3	1	○	探検	総合的な学習の支援
2/8	水	13:00-15:00	下諏訪町立下諏訪中学校1年生	4	105	5	○	探検	
2/24	金	9:10-10:10	安曇野市立明科中学校特別支援学級	1	5	2	○		
3/7	火	11:20-12:40	国学院大学博物館学講座	1	29	2	○	見学	遺物収蔵庫、文献書庫見学
			合計	611	17,416	1,251	252		

（2）関係機関視察　実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
4/21	木	11:35-13:30	練馬区教育委員会①実地踏査	19	○	見学	常設展解説、バックヤード視察
4/22	金	11:00-12:15	練馬区教育委員会②実地踏査	19	○	視察	常設展解説、バックヤード視察バックヤード視察
7/22	金	9:50-10:50	大田区教育委員会実地踏査	92	○	視察	常設展示解説、バックヤード視察
7/29	金	10:50-12:00	総合教育センター研修館内見学	14	○		常設展示解説
8/3	水	9:00-17:00	信大教員免許更新講習①　館内見学	50	○	見学	「歴史館で教材開発」
8/4	木	9:00-17:00	信大教員免許更新講習②　館内見学	47	○	見学	「歴史館で教材開発」
8/9	火	10:10-12:10	郡山市歴史資料館	3		視察	公文書館機能視察
10/4	日	9:40-11:00	更埴教頭会	18	○	見学	研修視察
11/13	日	9:00-17:00	信大教員免許更新講習③　館内見学	45	○	見学	「歴史館で教材研究」
			合計	307	8		

（3）一般団体見学　実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
4/24	日	15:40-16:30	三重交通パルックバスツアー	28	○		
5/14	土	10:10-12:00	川中島RCクラブ	16	○	見学	
5/19	木	11:00-12:00	ロータリー旅行	41	○		
5/20	金	15:40-16:30	三重交通パルックバスツアー	36	○		
5/27	金	11:00-12:00	福島県立博物館友の会	30	○		
5/28	土	13:20-14:50	橿原考古学研究所「友史会」	64	○	見学	
5/29	日	15:40-16:30	三重交通パルックバスツアー	31	○		
5/31	火	10:00-12:00	シニア大学長野学部	120	○		
6/1	水	10:00-12:00	シニア大学長野学部	96	○		
6/12	日	12:40-14:10	加沢歴史研究会（東御市）	10	○		
		14:00-15:30	南殿歴史友の会(南箕輪村)	13	○	見学	
6/22	水	15:00-15:50	小布施町北部コミュニティー	7	○		
6/23	木	13:00-14:00	阿弥陀海・栄会	25	○		
		15:00-16:10	上郷史学会	19	○		
6/25	土	10:00-11:00	富田高齢者クラブ(富田寿会)	20	○		
6/28	火	10:50-12:00	山梨県友会	20	○	見学	
6/29	水	14:45-15:30	六和会	23	○		
7/3	日	9:40-10:30	田子公民館	33	○	見学	
7/5	火	14:00-15:00	上田　天神の老人会	16	○		
7/7	木	12:30-13:30	戸隠志垣シニアの会	19	○		
7/14	木	10:15-11:30	桜ホーム(老人介護施設)	18	○		
7/22	金	10:00-11:00	南箕輪村公民館	20			
		10:15-11:30	桜ホーム(老人介護施設)	18	○		
7/24	日	9:30-10:30	中組公民館(長野市加茂)	25	○		
8/2	火	10:00-11:30	須坂市勤労者協議会	12	○	見学	
8/19	金	10:30-12:00	朝日観光自動車	9	○	見学	
8/21	日	10:50-11:50	山手学院（埼玉の塾）5年生	29	○	探検	
9/2	金	14:20-15:20	佐久市民生児童委員協議会	22	○		視察
9/18	日	13:00-14:00	釜蓋遺跡応援団（上越市）	17	○		
9/23	金	15:10-16:10	松代福祉企業センター	34			
9/28	水	13:00-14:30	富山市民大学学友会	31	○	見学	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
9/29	木	10:15-11:45	大桑村教育委員会			26	○	見学	
9/30	金	13:00-14:30	木曽町教育委員会・文化財審議委員会			6	○	見学	企画展関係者
10/2	日	10:00-12:00	奈良学友会関東支部			43	○	見学	
10/7	金	10:10-11:30	塩尻ロマン大学①			23	○		
		12:10-13:30	塩尻ロマン大学②			19	○		
10/12	水	10:00-11:30	川村晉蔵記念館			2	○		企画展展示資料提供者
10/13	木	10:00-12:00	木曽福島公民館　若菜学級			19	○	見学	
		13:00-15:00	木祖村文化財審議委員会			13	○		企画展関係者
10/14	金	12:45-13:30	明治大学博物館友の会			34	○		
10/18	火	10:00-11:30	(株)まちづくり木曽福島			6	○		
		12:45-15:30	王滝村教育委員会			11	○	見学	企画展関係者
10/19	水	10:00-11:00	芦田公民館			9	○		
		10:30-12:00	木曽町日義公民館 若返り学級			56	○	見学	
		13:30-15:30	木曽町教育委員会　開田支所			13	○	見学	企画展関係者
10/21	金	9:30-11:30	佐久シニア大学			122	○	見学	
10/21	金	15:10-16:10	富山市北代縄文広場ボランティアの会			13	○		
11/11	金	10:00-11:30	楽知会(千曲市ボランティアガイド)研修会			16	○	見学	
		13:00-14:30	NPO心の休憩所アトリエ虹			8			
11/12	土	13:00-15:00	信州大学校友会			10	○	見学	
11/13	日	10:40-11:10	屋代2区人権研修会			12	○		
11/16	水	10:15-11:15	高野辰之記念会（中野市）			24	○	見学	遺物収蔵庫、遺物保存処理室見学
11/17	木	13:00-15:30	王滝村役場			10	○	見学	企画展関係者
		13:00-14:00	木曽町自治協議会　会長			3	○		企画展関係者
11/18	金	13:30-14:30	地域づくりネットワーク木曽支部			8	○		企画展関係者
11/22	火	9:35-10:30	木曽町選挙管理委員会			7			視察
		10:30-12:30	上松町公民館			22	○	見学	企画展関係者
		11:00-12:30	木曽町教育委員会			9	○	見学	企画展関係者
11/23	水	10:00-11:00	塩筑教育会文化財研究会			7	○		
11/23	水	10:30-12:00	木曽町三岳三尾地区			16	○		企画展関係者
11/27	日	9:15-10:15	日義公民館　宮ノ越分館			14	○		企画展関係者
12/8	木	10:00-12:00	長和町長門郷土史研究会			20	○	見学	
12/11	日	10:00-11:45	伊那市創造館			21	○	探検	
12/18	日	10:00-12:00	松代文化財ボランティアの会			27	○	見学	
12/20	火	10:30-11:30	佐野市隣保館運営委員会			14	○		
12/23	金	11:00-12:00	郷土を知る会（篠ノ井）			12	○		
1/13	金	10:00-16:00	長野県長寿社会開発センター			54	○		「地域回想法を学ぶ」
1/20	金	10:30-14:30	NPO法人心の休憩所　アトリエ虹			4			
1/29	日	10:00-11:00	町川田公民館			13	○		
2/1	水	10:00-11:30	長野市立長沼公民館			16	○		冬季展関係者
2/12	日	9:45-11:00	森将軍塚ボランティアガイド講座			20	○		研修視察
2/16	木	10:25-11:25	松本市庄内地区公民館			29	○		
3/24	金	10:00-12:00	松本市松原地区公民館人権学習会			21	○	見学	
3/25	土	11:00-12:00	NHK文化センター・前橋			10	○		
3/26	日	11:00-12:00	静岡県冷凍空調工業会OB会			6	○		
3/28	火	11:00-12:30	諏訪自然塾（茅野市）			7	○	見学	
3/29	水	13:00-14:00	原新田　新寿会（塩尻市広丘）			23	○		
			合計			1,780	67		

2　企画展関連講演会等

月　日	テーマ	講　師	参加者数
4月23日	巡回展講演会 「土偶ってなんだろう」 遺跡報告会① 「長野女子高校校庭遺跡」 遺跡報告会② 「ひんご遺跡」	 長野県考古学会員 三上　徹也氏 長野市埋蔵文化財センター 飯島　哲也氏 長野県埋蔵文化財センター 谷　和隆氏	126
7月18日	夏季企画展イベント 「失われた鉄路上映会１　草軽電気鉄道」 「展示解説１　鳥瞰図を読み解く」		94
7月30日	夏季企画展講演会 「信州の山と鉄道」	 信州大学名誉教授 小西　純一氏	184
8月11日	夏季企画展関連講座 「信州に広がる鉄道の歴史」 「鉄道建設の奇才　才賀藤吉と信濃鉄道」 「鳥瞰図にみる昭和戦前の観光と鉄道」	 寺内　隆夫（当館職員） 原　明芳（当館職員） 林　誠（当館職員）	73
8月20日	夏季企画展イベント 「失われた鉄路上映会２　木曽森林鉄道」 「展示解説２　鳥瞰図を読み解く」		67
9月10日	巡回展講演会（松本会場） 講演「北村遺跡人はどのような人々だったのか」 トーク「北村遺跡人はどのような人々だったのか」	 京都大学名誉教授 茂原　信生氏 長野県埋蔵文化財センター 平林　彰氏	259
9月17日	秋季企画展関連講座（兼考古学講座） 「縄文土器に見る交流関係」 ギャラリートーク	 寺内　隆夫（当館職員）	54 34

9月24日	秋季企画展イベント「木曽馬と遊ぼう」 出演＝木曽馬「菜々子」（県天然記念物指定）		119
	秋季企画展ギャラリートーク		24
10月1日	巡回展遺跡報告会（松本会場） 遺跡報告会① 「明科遺跡群明科廃寺」 遺跡報告会② 「エリ穴遺跡」	 安曇野市教育委員会 大澤　慶啓氏 松本市教育委員会 百瀬　長秀氏	69
10月1日	秋季企画展ギャラリートーク		10
10月10日	秋季企画展イベント 「田立の伝統芸能に親しもう」	 田立歌舞伎保存会、田立花馬祭り保存会	114
10月15日	秋季企画展講座 「ここまでわかった木曽の古代」	 原　明芳（当館職員） 福島　正樹（当館職員）	27
	秋季企画展ギャラリートーク		14
10月22日	秋季企画展講演会 「木曽の宝」	 当館館長 笹本　正治	86
	秋季企画展ギャラリートーク		40
10月29日	巡回展「長野県の発掘2016」展示解説デー		36
11月3日	秋季企画展イベント 「伝統芸能に触れる（森将軍塚古墳まつり連携イベント）」	 須原ばねそ保存会 大桑小学校６年生 開田高原民謡保存会 開田高原地域協議会 開田小学校６・２年生	
11月5日	巡回展「長野県の遺跡発掘2016」展示解説デー		37

11月12日	秋季企画展イベント「木曽馬と遊ぼう」 出演=木曽馬「空号」	木曽馬保存会	136
	秋季企画展講座 「木曽馬の歴史」	中川　剛氏	38
11月13日	秋季企画展イベント「木曽馬と遊ぼう」	木曽馬保存会	136
	秋季企画展ギャラリートーク		16
11月19日	秋季企画展ギャラリートーク		30
11月26日	秋季企画展ギャラリートーク		9
12月23日	冬季展講演会 「戦国期における信濃国の城と城下町」	当館館長 笹本　正治	214
	冬季展ギャラリートーク		105
1月14日	冬季展関連講座① 「甲府・上田の城下町」	山梨県立考古博物館 小林　健二氏 上田市教育委員会 和根崎　剛氏	82
	冬季展ギャラリートーク		54
1月28日	冬季展関連講座② 「松本・松代の城下町」	松本市美術館 竹内　靖長氏 長野市埋蔵文化財センター 田中　暁穂氏	154
2月11日	冬季展関連講座③ 「土岐・飯田の城下町」	土岐市美濃陶磁歴史館 春日　美海氏 飯田市教育委員会 馬場　保之氏	92
	冬季展ギャラリートーク		65

3 講 座

(1) やさしい信濃の歴史講座

① やさしい信濃の歴史講座 『山と信州のあゆみ』(館内)

月 日	テーマ	講 師	参加者数
12月10日(土)	信州の山の信仰	笹本 正治	165
12月24日(土)	ウェストンが見た信州ー紀行文から信州の生活誌を探るー	小野 和英	120
	SHIGA・KOGENの誕生ー山稼ぎの地から国際的リゾート地へー	畔上不二男	
1月 7日(土)	黒曜石鉱山からクリ林の里山までー高低差800m+αを使い分ける山の縄文人ー	寺内 隆夫	163
	北アルプス山中の近世集落ー常念岳山腹烏川谷を例にー	百瀬 新治氏(安曇野市豊科郷土博物館館長)	
1月21日(土)	学校登山のはじまりー長野県師範学校・長野高等女学校ー	市川 厚	58
	学校林が果たした役割の変遷ー更級・埴科地方を中心にー	溝口 俊一	
2月4日(土)	描かれた「日本アルプス」ー江戸から明治へ(青木雪卿と丸山晩霞の作品から)ー	林 誠	142
	山の信仰とその造形ー「権現」の謎にせまるー	織田 顕行氏(飯田市美術博物館学芸員)	
2月18日(土)	活火山・浅間山と信仰	山田 直志	186
	九頭竜神のいわれと戸隠信仰の始まり	渡邉 玄	
3月11日(土)	続・東の牛伏寺・西の若沢寺ー山寺の信仰史ー	原 明芳	181

② やさしい信濃の歴史講座 in 上田

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
8月27日(土)	上田市立信濃国分寺資料館講堂	城の石垣ーその構築技術と強度のしくみー	白沢 勝彦	42
		中世の山林寺院	原 明芳	

③ やさしい信濃の歴史講座 in 箕輪

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
11月19日(土)	箕輪町地域交流センター研修室	箕輪の戦国時代－小笠原氏を中心に－	村石 正行	69
		山国にも「津波」がある－水害に立ち向かう社会を目指して－	青木 隆幸	

④ やさしい信濃の歴史講座 in 松本

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
12月3日(土)	松本市立博物館講堂	長野県内の近世城郭にみる城石垣の変遷	白沢 勝彦	59
		景観が語る地域の文化や歴史－形と意味で読み解く－	遠藤 公洋	
2月25日(土)	松本市立博物館講堂	信越国境をたどる－塩の道と姫川流域の歴史－	福島 正樹	80

(2) 考古学講座 『考古資料から見た“祈り”の世界』

·月 日	テーマ	講 師	参加者数
7月16日(土)	石器・石材の動きから見た文化交流	大竹 憲昭	62
9月24日(土)	木曽地域の土器に見る交流関係	寺内 隆夫	54
11月19日(土)	木曽路の開通と人と陶器の流れ	原 明芳	54
12月17日(土)	近世城下町のくらし～発掘された陶磁器から～	中野 亮一	58

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A：6月5日(日) B：6月16日(木)	古文書の世界に踏みだそう	中野 亮一	17 46
A：7月3日(日) B：7月21日(木)	文章を読んでみましょう	中野 亮一	18 43
A：9月4日(日) B：9月15日(木)	初めての古文書（1）近代	福島 正樹	18 40

A：10月2日(日) B：10月20日(木)	初めての古文書（2）近代	福島　正樹	15 36
A：11月6日(日) B：11月17日(木)	室賀氏の由緒を読む	福島　正樹	13 39

②中級

日　時	テ　ー　マ	講　師	参加者数
A：6月4日(土) B：6月16日(木)	武家故実を読もう	村石　正行	37 44
A：7月2日(土) B：7月21日(木)	島津氏の文書を読もう	村石　正行	36 46
A：9月3日(土) B：9月15日(木)	天正壬午の乱と信濃	村石　正行	37 44
A：10月1日(土) B：10月20日(木)	山国にも「津波」がある（1）	青木　隆幸	28 43
A：11月5日(土) B：11月17日(木)	山国にも「津波」がある（2）	青木　隆幸	31 40

③上級

日　時	テ　ー　マ	講　師	参加者数
5月28日(土)	問屋文書を読む（1）	尾崎 行也 氏 （元長野県史刊行会常任参与）	21
6月25日(土)	問屋文書を読む（2）	尾崎 行也 氏 （元長野県史刊行会常任参与）	18
7月23日(土)	問屋文書を読む（3）	尾崎 行也 氏 （元長野県史刊行会常任参与）	21
8月27日(土)	問屋文書を読む（4）	尾崎 行也 氏 （元長野県史刊行会常任参与）	16
9月24日(土)	問屋文書を読む（5）	尾崎 行也 氏 （元長野県史刊行会常任参与）	19

4　歴史館ふるさと講座 in 千曲

当館職員による真田氏に関する連続講座　（会場は下記参照）

日　時	テーマ	講　師	参加者数
6月4日(土) 13：30～16：00	歴史館が発信する真田の時代①	笹本　正治	188
6月10日(金) 19:00～20:30	歴史館が発信する真田の時代②	村石　正行	108
6月17日(金) 19:00～20:30	歴史館が発信する真田の時代③	福嶋　正樹	107
6月24日(金) 19:00～20:30	歴史館が発信する真田の時代④	遠藤　公洋	127
7月1日(金) 19:00～20:30	歴史館が発信する真田の時代⑤	原　明芳	81

6月4日・10日　千曲市戸倉創造館　6月17日・24日、7月1日　千曲市あんずホール

5　歴史館から考える戦争と平和

当館職員による戦争と平和に関する連続講座

日　時	テーマ	講　師	参加者数
8月13日(土) 13:30～15:00	戦国時代の戦争	笹本　正治	85
8月27日(土) 13:30～15:00	戦争は避けられなかったか	青木　隆幸	138
9月3日(土) 13:30～15:00	近代戦争の戦死者がどのように祀られたか	原　明芳	79
9月10日(土) 13:30～15:00	満洲のなかの埴科・更級	青木　隆幸	143

6　長野県カルチャーセンター連携講座

長野カルチャーセンターとの連携講座。今年は「信州・・・人・モノ・文化の道」をテーマに、街道、交通から信濃の歴史を考えた。

日　時	場　所	テーマ	講　師	参加者数
4月20日(水) 10：30～12：30	長野県カルチャーセンター	黒曜石の道	大竹　憲昭	20
5月18日(水) 10：30～12：30	長野県カルチャーセンター	東山道	福島　正樹	25
6月15日(水) 10：30～12：30	長野県カルチャーセンター	陶器の運ばれた道	原　明芳	22
7月20日(水) 10：30～12：30	長野県カルチャーセンター	女たちは善光寺をめざす	青木　隆幸	22
8月17日(水) 10：30～12：30	県立歴史館講堂	発展を支えた鉄道	寺内　隆夫	18
9月21日（水） 10：30～12：30	長野県カルチャーセンター	木曽の宝	市川　厚	16

7　八十二文化財団連携講座（大人の遠足）

公益財団法人八十二文化財団との共催講座。「知る・見る・歩く」をコンセプトに講義と現地見学の2部構成で実施。

(1) 講義 ①

日　時	場　所	テーマ	講　師	参加者数
9月21日(水) 14：00～16：00	松本市Mウイング	近世の文化	小野　和英	50

(2) 講義 ②

日　時	場　所	テーマ	講　師	参加者数
9月29日(木) 14：00～16：00	松本市Mウイング	満洲移民	青木　隆幸	43

(3) 現地見学　大人の遠足「文化の十字路　飯田探訪」

日　　時：10月6日（木）7：30～18：00

見学場所：飯田市、阿智村

講　　師：笹本正治・青木隆幸・小野和英（当館職員）

参 加 者：45名

8　県内連携講座

県内博物館と連携し、各博物館の職員と協働した連携講座。今年は、飯田市美術博物館、安曇野市豊科郷土博物館と連携して実施した。

日　時	場　所	テーマ	講　師	参加者数
2月19日(日) 13：30～15：30	安曇野市豊科郷土博物館	信州の雛人形と節句贈答について	小野　和英	26
2月25日(土) 13：30～15：00	飯田市美術博物館	描かれた「日本アルプス」 -江戸から明治へ-	林　誠	22
3月12日(日) 13：30～15：45	飯田市美術博物館	ウェストンが見た信州－紀行文から信州の生活誌を探る－	小野　和英	22
		飯田のシンボル風越山とその信仰	櫻井　弘人氏（飯田市美術博物館学芸員）	

9　考古学セミナー

長野県考古学会との共催による。

日　時	テーマ	講　師	参加者数
3月18日(土) 13：30～16：00	『先史時代における黒曜石利用について考える　－旧石器時代を中心にして－』 基調報告1 「長和町広原遺跡群の概要と中部高地での黒曜石を巡る人類行動」 基調報告2 「南牧村矢出川第Ⅶ遺跡の黒曜石と水晶」 トークセッション 「先史時代における黒曜石利用について考える」	 橋詰　潤　氏 （明治大学黒耀石研究センター） 谷　和隆　氏 （長野県埋蔵文化財センター） 橋詰　潤　氏 谷　和隆　氏 鶴田　典昭　氏 （長野県埋蔵文化財センター） 大竹　憲昭 （当館職員）	73

10 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「近世の町と村」をテーマにして、3名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
11月26日(土) 10：50～15：50	研究発表1 「城下町へ分け入る－上田城下町の場合－」 研究発表2 「松本近郊の在郷町＜成相新田＞の成立と展開について」 研究発表3 「飯田町と周辺村々をつなぐ振商札・糸札－商品流通の発展とその掌握－」	尾崎 行也氏 高原 正文氏 伊坪 達郎氏	51

11 講 習 会

(1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
11月22日(火)	出土木製品の保存処理と保管環境	講義・実習・質疑応答 白沢 勝彦	18

(2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月23日(木)	第1回文献史料保存活用講習会「資料の保存とデジタル化の現状と課題」	福島正樹	32
11月11日(金)	第2回文献史料保存活用講習会「災害と資料保全Ⅰ」	中央学院大学教授 白水智氏 独立行政法人国立公文書館 調査員 寺島 宏貴氏 長野市立博物館学芸員 細井雄次郎氏	60
3月8日・9日 (水・木)	第3回文献史料保存活用講習会 県立歴史館 参加者25名 テーマ「史料取り扱い講習」－身近な史料の扱い方 保存の仕方－	小林 誠治氏 (株式会社 清閣堂 専務取締役) 遠藤 親幸氏 (株式会社 清閣堂 軸装部長)	25

12 各種講習会・イベント

(1) イベント

日時	テーマ	内　　容	参加者数
5月4日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリーづくり①	62
		土器洗いにチャレンジ	55
		バックヤード探検〈拡大版〉	66
5月5日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリーづくり②	63
		土器洗いにチャレンジ	71
		縄文人になって遊ぼう	185
7月29日	総合教育センター研修		13
8月6日	歴史館で夏休み	石のアクセサリーづくり①	24
		プラ版キーホルダーづくり	33
		バックヤード探検〈拡大版〉	34
8月7日	歴史館で夏休み	石のアクセサリーづくり②	39
		プラ版キーホルダーづくり	39
		縄文人になって遊ぼう	81
8月3日	信州大学教員免許状更新講習		50
8月4日			47
8月13日	解説ボランティア研修講座	概要コース①	4

日時	テーマ	内　　容	参加者数
8月20日	解説ボランティア研修講座	概要コース②	2
8月14日		実地コース①	4
8月21日		実地コース②	4
11月3日	将軍塚まつり	縄文人になって遊ぼう	483
		勾玉づくり	156
		青空教室	―
11月11日	長野県史料保存活用連絡協議会講習	資料レスキュー	56
11月13日	信州大学教員免許状更新講習		45
11月22日	考古資料保存処理講習会		18
2月23日	長野県博物館協議会研修会		59
2月23日	信州大学学芸員資格取得講座		41
2月24日	長野県博物館協議会研修会		59
2月24日	信州大学学芸員資格取得講座		41
3月8日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会		12
3月9日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会		13
3月20日	親子映画会①	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	429
3月22日	親子映画会②	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	403
3月23日	親子映画会③	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	278

日時	テーマ	内　　容	参加者数
3月24日	親子映画会④	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	350

１３　展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施　　団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	20	76	52	30	7	24	22	16	2	0	2	1
一般団体数	3	6	9	8	5	5	15	13	5	2	3	0
小計	23	82	61	38	12	29	37	29	7	2	5	1

１４　学校との連携

(1)　千曲市立東小学校との連携

・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」
年間 7 回を学校と共に計画を立案し、勾玉作り、土鈴作り、黒曜石ナイフ・弓矢体験学習等の講師を務めた。

(2)　屋代高等学校附属屋代中学校 1 学年への学習支援（4 月 8 日）

・中学校において課題探究的な学習を始めるにあたって、ものの見方や考え方を学ぶきっかけを当館の見学を通して提供した。
内容：常設展示室にて「条里と水田」の解説、遺物整理室にて「屋代木簡」の解説、企画展示室にて「遺跡発掘」の解説、バックヤード探検（保存処理室含む）

(3)　埼玉大学教育学部附属中学校 2 年生への学習支援（7 月 14 日）

・当館の見学に合わせて設定した個人研究テーマに基づき学習支援を行った。事前に送られてきた質問への回答を行い、見学当日も疑問に答えたり、学習の進め方へのアドバイスを行ったりなどの支援をした。生徒 17 名。

(4)　長野市立篠ノ井東中学校へ出前講座（7 月 23 日）

・体験教室の「勾玉作り」の講師（2 名）を務めた。生徒 35 名。

(5)　長野市立川中島小学校への講師派遣（11 月 1 日）

・体験交流講座で、勾玉づくりの講師（2 名）を務めた。児童 17 名。

(6)　長野市立芋井小学校 4 年生への学習支援（12 月 6 日）

・当館への見学時に、芋井地区の地域学習の中で出てきた疑問に答える支援を行った。児童 3 名。

(7) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月29日）

・研修講座〔歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～〕 14名
講義「歴史への興味・関心を高める教材化」の講師を務めた。
演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。

(8) 信州大学教員免許更新講習の開設（8月3日、8月4日、11月13日 計3日間）

・「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定」に基づき、当館を会場にして講習を開設した。受講者は3回の合計で140名）
・総合情報課長による講義、館内の案内、演習時の支援等を行った。

１５ 博物館実習

・実習期間 8月23日（火）～9月2日（金） 8月29日（月）を除く10日間

・実 習 生 石子希（東京学芸大学）、吉沢学美（立命館大学）、青木和佳奈（清泉女子大学）、鈴木真愛（帝京大学）、久保千春（信州大学）、鹿田友暉（松本大学） 以上6名

・内 容 博物館学概論、資料調査の実際、閲覧業務の実習、展示解説の見学・解説の実習、広報の実際、考古資料の保管・活用・調査研究、考古資料の取り扱い（土器・石器、木製品、金属製品）、行政文書の整理実習、古文書の整理実習

１６ インターンシップ

・実習期間 9月8日（木）・9日（金）
・実 習 生 旭 優美（明治学院大学）、寺島愛花（お茶の水女子大学） 以上2名
・内 容 木製品保存処理、考古資料の収蔵、文献史料整理、目録データ作成、閲覧業務の実習 他

１７　職場体験学習

職場体験学習、就業体験学習、社会人研修（10回、26名、のべ23日間）

5月31日（火）～6月1日（水）　2日間　長野市立広徳中学校2年生 3名
6月29日（水）～7月1日（金）　3日間　千曲市立屋代中学校2年生 3名
7月26日（火）～7月28日（木）3日間　千曲市立埴生中学校2年生 3名
8月 4日（木）　　1日間　屋代高等学校1年生 5名
8月 4日（木）、6日（土）、7日（日）3日間　篠ノ井高等学校2年生 1名
8月 5日（金）～8月6日（土）　2日間　安曇野市立穂高東中学校社会人研修 1名
8月 6日（土）～8月7日（日）　2日間　長野南高等学校社会人研修 1名
8月 6日（土）～8月7日（日）　2日間　松川町立松川中学校社会人研修 1名
8月 6日（土）～8月7日（日）　2日間　千曲市立上山田中学校社会人研修 1名
9月 6日（火）～9月8日（木）　3日間　千曲市立上山田中学校2年生 5名

１８　サークル育成活動

○　古文書愛好会

(1)　館蔵文書を読む会

①　実施日　6月2日（木）～12月1日（木）　まで毎月第一木曜日に実施

②　実施に至るまで

4月下旬：愛好会役員と協議
5月中旬：今年度整理文書の選定および愛好会役員との協議
5月下旬：参加希望会員へ通知発送／テキスト編冊

③　対象史料

「細田家文書」のうち嘉永年間の「御用御触書留」を購読し、翻刻および発表会をおこなった。

④　参加者　36名延べ210名（平均各回29名）

(2)　古文書探訪会

①　日　　時　10月13日（木）
②　見学場所　山田家資料館（中野市）　小布施町文書館（小布施町）旧上高井郡役所（須坂市）　勝善寺（須坂市）
③　参 加 者　会員27名　事務局（文献史料課員）1名　　計28名
④　参 加 費　5,000円

(3)　古文書演習

①　実施日　1月20日（金）～2月26日（日）　まで毎週金･土･日曜日を原則として実施

②　実施に至るまで

11月下旬：今年度整理文書の選定
11月下旬：愛好会担当幹事と協議
12月中旬：会員へ通知発送

1月中旬：愛好会役員会で班分け等実施準備

③ 仮目録採りの対象史料

全班　犬飼家文書の整理

1班　佐久郡立科番所関係文書　大日向村文書

2班　松本藩士荒川家文書　大日向村文書　筑摩郡潮沢村文書

3班　高島藩小松家文書・大日向村文書　高井郡小平家文書

4班　下諏訪宿増沢家文書　大日向村文書

5班　生島足島神社宮下家文書・大日向村文書　佐久郡湯原村・切原村

④ グループ学習会

古文書演習中の適当な半日（2時間程度）を使い、各グループ1～2回ずつ、自分たちが整理した文書の中から適当なものを選んで学習した。

⑤ 参加者39名　延べ378名（各回平均21名）

(4) 総会

① 日　時　2月26日（日）午後1時～1時30分

② 議　題

・平成28年度古文書愛好会事業報告
・平成28年度古文書愛好会会計現計報告
・平成28年度古文書愛好会会計監査報告
・平成29年度古文書愛好会事業計画案について
・平成29年度古文書愛好会予算案について

③ 参加者　会員30名　事務局2名　計32名

(5) 研修会

① 日　時　2月26日（日）午後1時～1時30分

② 講　演

「歴史館の武田氏文書2点を読む」　館長　笹本正治

③ 参加者　会員30名　事務局2名　計32名

19　ボランティア活動

（1）全体的な活動等

①総会の開催　　4月10日（日）13:30～14:00　役員選出、本年度の活動計画等

②保険の加入　　ケガ等の報告無し（保険使用無し）

③募集　ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等

④名簿作成　　ボランティア会員数

	体験	解説	作業	合計（延数）	実数
年度当初数（人）　4/1	29	19	6	54	42
年度末数　（人）　3/2 0	35	24	6	65	46

＊実際に解説を行っている会員は9名、他は研修中ほか。

⑤内覧会案内・招待券・館だより等の送付

（2）解説ボランティア活動

①団体への展示解説

・一般団体を主とする。学校団体は状況に応じて依頼した。

・一般6団体で解説29回　　学校5校で解説5回

②一般客への展示解説　「日曜解説」

・実施日　　毎週日曜日（通年）。途中から祝日も追加した。

・実施時間　　午前10:30～12:30　　午後1:30～3:30

・解説人数　　午前・午後ともに2名を原則

・解説方法　　展示室で声がけをしながら適宜活動。喜びの持てる活動となった。

・実績　　解説者延数210、利用者数1,063人（4/17～3/12）

③イベント時における展示解説と監視

「歴史館でこどもの日」「歴史館で夏休み」「森将軍塚まつり」

④研修　　6月研修会、内覧会への招待、自主研修ほか

（3）体験ボランティア活動

①歴史館でこどもの日　　5月4日（水）　勾玉12人　解説3人

5日（木）　勾玉13人　縄文人6人　解説3人

②歴史館で夏休み　　8月6日（土）　勾玉14人　解説4人

7日（日）　勾玉11人　縄文人3人　解説2人

③森将軍塚まつり　　11月3日（木）　勾玉15人　解説監視8人

④クリスマスリース作り　11月27日(日)　参加者数名

⑤勾玉出前講座や企画展イベント支援の要請はなかった。

（4）作業ボランティア活動　　合計22人日

① 5月　打ち合わせ（0.5日×2人）

② 6月　木器取り上げ（4日×1人）

③ 7月　記録整理（1日×1人、1日×2人）、木器取り上げ（3日×1人）

④ 8月　記録整理（0.5日×1人）

⑤11月　木器取り上げ（3日×1人）

⑥12月　木器取り上げ（3日×1人）、真空凍結乾燥投入（2日×1人）、PEG処理槽投入（2日×1人）

２０　博物館関係職員等研修会

長野県教育委員会、長野県博物館協議会共催

（1）　期日

平成28年2月23日(木)、24日(金)

（2）　参加対象者

公立・私立博物館等（博物館、美術館、歴史民俗資料館及び考古資料館等）職員

市町村教育委員会職員

教育事務所職員

県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

その他受講希望者

※一部、信州大学学芸員講座を兼ねて実施

（3）　内容

2月23日(木)（参加者＝103名）

①　講演「博物館の現在と未来」

〈講師〉竹内　誠 氏（徳川林政史研究所所長・江戸東京博物館名誉館長）

②　講演「群馬県立歴史博物館の改修とリニューアルについて」

〈講師〉小池　浩平 氏（群馬県立歴史博物館補佐）

2月24日(金)　（参加者＝103名）

①　事例報告「タイミングを活かした博物館・美術館の企画と工夫」

◇「諏訪御柱祭」〈報告〉中島　透 氏（諏訪市博物館学芸員）

◇「文化庁日本遺産『木曽路はすべて山の中』」

〈報告〉原　明芳（長野県立歴史館総合情報課長）、市川　厚（同館専門主事）

◇「ＮＨＫ大河ドラマ『真田丸』」〈報告〉降幡　浩樹 氏（真田宝物館学芸員）

②　実務研修

◇「資料・作品撮影の実際（入門編）」〈講師〉林　誠（長野県立歴史館学芸員）

◇「土器・陶磁器の取扱いと展示について」

〈講師〉日本通運長野支店専門職員2名

◇「実際の展示にあたって」〈講師〉中野　亮一（長野県立歴史館文献史料課長）

２１　職員派遣（出前講座）

月　日	派　遣　先	内　　容	参加者数	職　員
4月2日	飯綱郷土史研究会	飯綱町の山城	40	遠藤　公洋
4月9日	若穂郷土史研究会	満洲のなかの若穂	40	青木　隆幸
4月16日	日本城郭史学会	信州真田三代の戦略・築城	107	笹本　正治
4月26日	夢科高校	黒曜石のみちを考える		大竹　憲昭
5月10日	夢科高校	中山道	47	遠藤　公洋
5月12日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
5月13日	千曲川河川事務所	「山国にも「津波」がある－「戌の満水」を題材に－	36	青木　隆幸
5月14日	栗佐公民館	「真田丸」	31	青木　隆幸
5月14日	佐久市立望月歴史民俗資料館	樹木と人の交渉史	38	寺内　隆夫
5月18日	長野県文化財保護協会	「山国にも「津波」がある－「戌の満水」を題材に－	37	青木　隆幸
5月19日	チュラローンコーン大学コミュニケーション学部	小菅の里の歴史と文化	9	笹本　正治
5月21日	信濃史学会	歴史における支配とは何か	41	笹本　正治
5月22日	佐久教育振興会	満洲の中の佐久	78	青木　隆幸
5月25日	NPO北見文化連盟	真田氏三代～真田は日本一の兵	78	笹本　正治
5月26日	更埴社会科教育研究会	諏訪信仰について	20	畔上　不二男
5月28日	全国地名研究者伊那谷大会実行委員会	天竜川を中心とした歴史と地名	250	笹本　正治
6月9日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
6月11日	十日町市博物館	長野県の縄文中期土器から見た野首遺跡土器の特徴と魅力	31	寺内　隆夫
6月19日	妙高市教育委員会	岡山に戸隠山顕光山（現戸隠神社）があった時代	60	遠藤　公洋
6月24日	長野高校	戌の満水	290	青木　隆幸
6月26日	永昌寺	発掘で何がわかるか？	40	大竹　憲昭
6月30日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
6月30日	大桑村教育委員会	信濃の戦国時代～真田と木曽氏	65	笹本　正治
7月3日	大鹿村教育委員会	戦争は避けられなかったのか	43	青木　隆幸
7月7日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
7月11日	火山砂防フォーラム	活火山御嶽のめぐみ	25	笹本　正治
7月11日	火山砂防フォーラム	活火山御嶽のめぐみ	25	笹本　正治
7月16日	八十二文化財団	真田氏の住んでいた場所はどこ？	131	笹本　正治
7月23日	篠ノ井東中学校	課題学習	35	原・溝口
7月23日	茅野市尖石縄文考古館	焼町式土器について	40	寺内　隆夫
7月23日	東御市公民館	戦国時代の真田氏	108	笹本　正治
7月24日	小諸フィルムコミッション	真田氏	60	笹本　正治
7月28日	飯山市立小学校	魅力ある学校とすみやすい地域づくり	70	笹本　正治
7月28日	東信史学会更埴支部	戌の満水	65	青木　隆幸
7月29日	東信史学会更埴支部	戌の満水	65	青木　隆幸
7月31日	信州自遊塾	第一次世界大戦	37	笹本　正治
8月1日	関東農政局	安曇野の農業用水と景観	550	笹本　正治
8月8日	長野県測量設計業協会・新建新聞社	絵図地図を使ったワークショップ	7	遠藤　公洋
8月25日	稲荷山公民館	真田三代物語	57	青木　隆幸

月　日	派　遣　先	内　　容	参加者数	職　員
8月25日	市立長野高校	善光寺をめぐる中世の合戦	17	村石　正行
8月28日	千曲市永昌寺	伊能忠敬	41	小野　和英
8月29日	松本市松原地区公民館	女たちの善光寺街道	37	青木　隆幸
9月2日	飯水校長会小学校部	飯山の歴史と文化	400	笹本　正治
9月2日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
9月3日	長野西高校同協会	近世の善光寺参詣	31	青木　隆幸
9月4日	松本市文化財課	林城址を歩く～文化財について学ぼう！～	50	笹本　正治
9月8日	市立長野高校	善光寺参詣	17	青木　隆幸
9月10日	長野西高校同協会	真田氏	30	村石　正行
9月21日	長野県人権啓発センター	満洲移民の教訓	32	青木　隆幸
9月23日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
9月25日	千曲市永昌寺	戦国時代の墳墓	30	村石　正行
9月28日	信州高遠美術館	中村不折	30	林　誠
9月30日	湯～ぱれあ	若穂地区の地下に眠る遺跡	24	大竹　憲昭
10月4日	長野県短期大学	信濃の古墳	115	西山　克己
10月6日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	溝口　俊一
10月7日	湯～ぱれあ	諏訪信仰と御柱祭	30	畔上　不二男
10月7日	屋代南高校	シルクについて	18	小野　和英
10月8日	駒ヶ根市教育委員会	長野県にとっての光前寺の重要性	120	笹本　正治
10月14日	長野県長寿社会開発センター佐久支部	郷土の歴史と文化	135	市川　厚
10月14日	飯山市教育委員会	川中島合戦	460	笹本　正治
10月14日	山梨県医師国民健康保険組合	川中島合戦	447	笹本　正治
10月15日	地方史研究協議会	国境を越える信仰－妙高山と越後・信濃－	350	笹本　正治
10月18日	長野県短期大学	東山道	115	福島　正樹
10月20日	市立長野高校	近世の衣類	10	小野　和英
10月21日	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	船橋市後貝塚出土の縄文土器について～戦前の日本大学発掘調査の成果～	71	寺内　隆夫
10月23日	甲府第一高等学校昭和45年卒業生東京同窓会	真田の時代	30	笹本　正治
10月25日	飯山市教育委員会	「山の心、人の心、修験道と飯山」	60	笹本　正治
10月28日	安曇野市議会	ふるさとの自然と文化	101	笹本　正治
10月29日	東御市生涯学習課	戌の満水	45	青木　隆幸
10月29日	新宿歴史博物館	信州高遠藩　歴史と文化	104	笹本　正治
11月1日	長野県短期大学	近世城下町	120	中野　亮一
11月1日	川中島小学校	勾玉つくり	17	溝口　俊一
11月4日	湯～ぱれあ	樹木と人の交渉史	20	寺内　隆夫
11月5日	長野西高校同協会	木曽の宝	17	市川　厚
11月8日	長野県短期大学	中村不折	120	林　誠
11月10日	市立長野高校	中村不折	17	林　誠
11月12日	長野西高校同協会	近世城下町	19	中野　亮一
11月12日	栗佐公民館	善光寺参詣と矢代宿	34	青木　隆幸
11月12日	信州大学校友会	歴史館の機能と信州の歴史	10	笹本　正治
11月13日	長野県埋蔵文化財センター	三遠南信の戦国時代	81	笹本　正治
11月15日	木曽地方事務所	秋季企画展について	68	原　明芳

月　日	派　遣　先	内　　容	参加者数	職　員
11月15日	長野県短期大学	木曽の宝	120	市川　厚
11月17日	市立長野高校	太平洋戦争	16	原　明芳
11月17日	千曲市立東小学校	アプリコットタイム	31	滝口　俊一
11月18日	松川町公民館	昭和史学び直し	67	青木　隆幸
11月18日	松代公民館	信州の城と石垣	66	白沢　勝彦
11月19日	藤枝市郷土博物館・文学館	戦国大名武田二代	100	笹本　正治
11月26日	塩田の歴史・文化を学ぶ集い	塩田平と武田氏、村上氏	96	笹本　正治
12月2日	湯～ぱれあ	善光寺参詣	30	青木　隆幸
12月4日	座光寺地域自治会	南本城城跡について	50	笹本　正治
12月9日	千曲市埴生公民館	真田三代物語	48	青木　隆幸
12月10日	平出博物館	華やかに飾られた縄文土器	66	寺内　隆夫
12月11日	信州自遊塾	映像の20世紀	40	笹本　正治
12月16日	松本美須々ヶ丘高校	信濃の戦国時代	50	村石　正行
12月16日	長野県埋蔵文化財センター	考古資料の保存活用に関する現状と課題	40	大竹　憲昭
12月17日	松本市文書館	史料保存の課題	150	笹本　正治
12月17日	駐日本国大韓民国大使館	長野地方と韓半島の交流史	510	西山　克己
12月20日	須坂市総務部	信濃の歴史と文化	150	笹本　正治
1月14日	東信史学会	佐久間象山	72	青木　隆幸
1月16日	上田観光コＰンベンション協会	塩田平における武田信玄の動向と村上氏	60	笹本　正治
1月17日	夢科高校	東山道	38	福島　正樹
1月19日	日本自然保護協会	日本人の信仰と自然	70	笹本　正治
1月22日	いいづな歴史ふれあい館	発掘された飯綱町の戦国遺跡	38	中野　亮一
1月29日	日本技術士会長野県支部	掘ってわかった信州の原始・古代	59	大竹　憲昭
2月2日	八十二文化財団	中信地方と水のかかわり	220	笹本　正治
2月10日	斜面防災対策技術協会	斜面防災と神仏意識	65	笹本　正治
2月12日	豊野地区四公民館	真田氏と北信濃について	59	村石　正行
2月18日	長野県埋蔵文化財センター	信越地域の縄文文化	110	寺内　隆夫
2月18日	長野市平柴公民館	真田丸、再び	30	青木　隆幸
2月22日	長野県経営者協会須高支部	信濃国における中馬の歴史	20	中野　亮一
2月24日	喬木村教育委員会	長野県誕生秘話	28	青木　隆幸
2月25日	杭瀬下公民館	戦国時代の杭瀬下地域	32	村石　正行
3月5日	南信州阿南町新野雪祭等資産化実行委員会	阿南町新野の民俗芸能	146	笹本　正治
3月8日	長野県神社庁更埴支部	諏訪信仰と御柱祭	110	畔上　不二男
3月10日	桜堂楽友会	近代の桜堂	36	青木　隆幸
3月16日	八十二文化財団	雛人形の歴史	20	小野　和英
3月18日	光城山1000人SAKURAプロジェクト交流会	光城山の歴史	100	笹本　正治
3月18日	セレーノ八木沢自治会	古代のロマンを追う	12	寺内　隆夫
3月19日	松本市立博物館	観館楽学対談	39	笹本　正治
3月26日	松本市文化スポーツ課	学都松本について	65	笹本　正治
3月27日	篠ノ井地区住民自治協議会	シナノから科野へ	80	西山　克己

Ⅳ 共催事業

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
4月20日	長野県カルチャーセンター連携講座①	長野県カルチャーセンター	20
5月18日	長野県カルチャーセンター連携講座②	長野県カルチャーセンター	25
6月15日	長野県カルチャーセンター連携講座③	長野県カルチャーセンター	22
7月20日	長野県カルチャーセンター連携講座④	長野県カルチャーセンター	22
8月17日	長野県カルチャーセンター連携講座⑤	長野県カルチャーセンター	18
9月21日	長野県カルチャーセンター連携講座⑥	長野県カルチャーセンター	16
9月21日	八十二文化財団連携講座 （大人の遠足）事前学習会	八十二文化財団	50
9月25日	八十二文化財団連携講座 （大人の遠足）事前学習会	八十二文化財団	43
10月6日	八十二文化財団連携講座 （大人の遠足）現地見学	八十二文化財団	45
11月26日	近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	51
2月19日	見内博物館連携講座（安曇野市豊科郷土博物館）	安曇野市教育委員会	26
2月25日	県内博物館連携講座（飯田市美術博物館）①	飯田市教育委員会	30
3月12日	県内博物館連携講座（飯田市美術博物館）②	飯田市教育委員会	22
1月～2月	古文書愛好会古文書演習演習	古文書愛好会	373
3月18日	考古学セミナー	長野県考古学会	135

V 出 版

1 長野県立歴史館たより

(1) 夏号 vol. 87 表紙 金子常光 作「草津軽便鉄道沿線鳥瞰図」（大正末～昭和初期 絹本着色 草軽交通株式会社 蔵）
平成 28 年 6 月 1 日発行 A4 判、8 頁 (オールカラー)
主な内容：「県民の皆様に必要とされ、愛される歴史館をめざして」、「長野県の遺跡発掘 2016」、夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」、研究の窓「小笠原貞慶の「花押」ー「天正壬午の乱」からー」、文献史料をよむ「「信濃史料」データベースの紹介」、行事アルバム「春季企画展講演会から」・「歴史館で子どもの日」、6 月～8 月の行事予定、表紙の写真の解説

(2) 秋号 vol. 88 表紙「絵馬・黒駒繋馬図（寛文 8 年・1668、王滝村・御嶽神社蔵）、大般若波羅密多経（建保 3 年・1215、個人蔵）、木造阿弥陀如来坐像（長野県宝、鎌倉時代、木曽町三岳・日向区蔵）、土器（崩越遺跡出土、縄文時代中期中葉、王滝村教育委員会蔵）、渓斎英泉岐阻海道奈良井宿名産店之図（19 世紀、木曽路美術館蔵）、木造菩薩形立像（平安時代末～鎌倉時代、大桑村・池口寺蔵）、太刀 銘口恒（長野県宝、鎌倉時代、木曽町・水無神社蔵）」
平成 28 年 9 月 1 日発行 A4 判、8 頁 (オールカラー)
主な内容：秋季企画展「木曽の宝」、常設展示室からー 秋の展示のみどころー、文献史料をよむ「室賀家資料の里帰り」、研究の窓「考古資料の年代を知る」、9～12 月の行事予定、行事アルバム

(3) 冬号 vol. 89
表紙「松本城大手門枡形跡調査風景」（松本市教育委員会提供）、水野氏家紋（沢潟紋）入軒丸瓦（枡形跡出土）、織部四方鉢（松本城三の丸跡出土）、古九谷茶碗（松本城三の丸跡出土）
平成 28 年 12 月 1 日発行 A4 判、8 頁 (オールカラー)
主な内容：平成 28 年度冬季展 信濃国の城と城下町～発掘調査が謎を解く～、文献史料をよむ「信陽松城絵図」（松代城下町絵図）、戦争資料「高橋航空機製作所関係資料」、研究の窓「シナノ古墳文化の画期を示す当館所蔵馬具 2 例」、行事アルバム「木曽の伝統芸能に触れる」・「遺跡探訪会」、12～3 月の行事予定

(4) 春号 vol. 90 表紙「須恵器三足短頸壺」（豊丘村中手田遺跡出土）
平成 29 年 3 月 1 日発行 A4 判、8 頁 (オールカラー)
主な内容：平成 29 年度の長野県立歴史館「県民の皆様が足下からふるさとを考える契機を提供します」、秋季企画展「木曽の宝」を振り返って、巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」紹介、考古資料をよむ「縄文人も黒曜石を等級分けして貯蔵した？」、文献史料をよむ「没後 70 年栗岩英治関係資料の公開」、行事アルバム「歴史館に木曽馬がやってきました」・「やさしい信濃の歴史講座」・「宮坂武男先生の資料が当館に寄贈されました」、3～6 月の行事予定

2　ブックレット

信濃の風土と歴史23『川』　平成29年3月31日発行　B5判、72頁（オールカラー）、1,000円で頒布

＜内容＞

はじめに

序章　「かわ・たき・みずうみ」

　信濃の川，信州の川と湖，本書で扱っている水辺

第1章「わたる・はこぶ」

　東山道、川を渡る，川を越える，川で運ぶ

　コラム：時代の移ろいにみる木曽川

第2章「わざわい・いくさ」

　土石流が街を襲った，暴れ川を制した階段状の砂防施設，消えた流れ，城をめぐる川の物語，千曲川をめぐる中世の合戦

　コラム：仁和の洪水

第3章「たべる・くらす」

　川辺のムラ、湿地を囲むムラ，諏訪湖底遺跡の謎，川・湖沼の恵みと縄文人，弥生時代の千曲川水系と天竜川水系の文化，魚・貝・エビ・川虫，食卓に上った川魚

　コラム：御牧ヶ原と塩田の溜池

第4章「つくる・ひらく」

　水を得るたたかい，器械製糸場の水車を回した川の水，高度成長期のダムと県営事業，源泉の利用とその恵み

　コラム：水田と条里

第5章「こころ」

　川とともに生きる，水辺の祭祀，諏訪湖と野尻湖，歌川広重「洗馬」，日本人の心に生きる「河童」，名勝天龍峡

　コラム：山と川が結びつくところ

主要参考文献，協力者・協力機関，あとがき

3　研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第23号　平成29年3月31日発行、A4判、152頁、1,000円

＜内容＞

絵・資料紹介

村石正行「徳川家康書状（室賀家資料）」

研究報告

笹本正治「災害と牛の伝説－牛伏寺の寺名から－」

西山克己「象嵌装大刀を持ったシナノの舎人たち　2」

青木隆幸「気象条件からみた「戌の満水」（寛保二年の洪水）」

村石正行「史論家　栗岩英治」

原明芳「信濃鉄道の路線変更と初代社長才賀藤吉」

林誠「画家・中村不折の滞欧作－パリ留学時代初期（1901年から1903年）に制作された一連の木炭デッサンについて－」

業務報告

市川厚「秋季企画展「木曽の宝」の開催について」

市川厚「長野県内の校歌にうたわれている山について」

資料紹介

遠藤公洋「『皇国地誌』の村誌に添えられた地図」

4　その他

平成28年度催し物案内（前期）（後期）

A4変形判（21.0×52.2㎝）、三つ折カラー

Ⅵ 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数

(単位：冊)

区　分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	0	5	6	4	0	15
購　入	73	289	0	0	0	362
寄　贈	615	637	295	202	740	2,489
平成28年度計	688	931	301	206	740	2,866
累　計	29,651	32,539	5,922	10,294	23,929	102,335

(2) 文庫等図書資料数　(単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塚田・宝月文庫	14,528
長野県考古学会	5,685
累　計	23,293

(3) 公開用雑誌製本　　雑誌製本　20件

(4) 映像資料　　購入ＤＶＤ　0本、寄贈ＤＶＤ　0本

寄贈ＣＤ－ＲＯＭ　　0本

2 情報提供

(1) レファレンス　　83件

(2) ホームページアクセス数　　70,600件

Ⅶ 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣　旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体　制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内　容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（6月24日）

・平成28年度調査研究計画（報告と討議）

第2回（7月27日）

・平安時代後期の地方寺院の成立－松本平を中心に－　原　明芳

第3回（8月19日）

・山国にも「津波」がある－「戌の満水」を題材に－　青木　隆幸

第4回（9月28日）

・シナノの「初期牧」の成立と「山塩」との関係を考える　西山　克己

第5回（10月27日）

・信州黒曜石文化を考える　大竹　憲昭

・城下町出土陶磁器について　中野　亮一

第6回（11月25日）

・菅江真澄・ウェストン・シュタイニッツアーが見た信州　小野　和英
－紀行文から信州の生活誌を探る－

・戸隠信仰の資料とその可能性－近世史料を生かすために－　遠藤　公洋

第7回（12月21日）

・学校林の果たした役割の変遷－更級・埴科地方を中心に－　溝口　俊一

・SHIGA・KOGENの誕生－山稼ぎの地から国際的リゾート地へ　畔上　不二男

第8回（1月27日）

・活火山・浅間山と信仰　山田　直志

・九頭竜神のいわれと戸隠信仰の始まり　渡邉　玄

第9回（3月10日）

・知られざる栗岩英治　村石　正行

・日本アルプスの誕生と絵画　林　誠

・佐久市蛇塚古墳より出土した二振の鉄刀について　白沢　勝彦

第10回（3月28日）

・平成29年度夏季企画展実施設計　福島　正樹

「長野県誕生！－庶民は長野県の誕生をどう受け止めたか－」

・平成29年度秋季企画展構想　寺内　隆夫

「地域間交流による土器装飾の発展－縄文時代中期中葉（約5,200年前）の中央高地を中心として」

3 時代別研究会

平成28年度　時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古史料課	文献史料課
原始		寺内　隆夫 山田　直志	大竹　憲昭 西山　克己	
古代 中世		原　明芳 市川　厚 溝口　俊一		村石　正行
近世		小野　和英 畔上　不二男	白沢　勝彦 遠藤　公洋	中野　亮一 福島　正樹
近現代	青木隆幸	林　誠 渡邉　玄		

時代別研究会の主な業務

(1)　学芸研究会発表内容の事前報告

(2)　史資料及び図書資料の調査研究

(3)　常設展及び企画展の展示資料についての調査研究

(4)　ブックレット原稿の事前検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針
（平成3年6月建設委員会決定）

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄

贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたって収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア　市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ　資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

(d)　資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e)　県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f)　歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

2　展示資料

(1)　収集資料数

区　分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
平成28年	0	0	4	0	4

(2)　収集資料の内訳

なし

(3)　寄贈

品名	員数	寄贈者	時代	備考
蓄音機　附SPレコード	1台	南畑吉恵	近現代	昭和10年　日本ビクター製
故西澤嘉義戦争関係資料	1式	西澤　博	近現代	死亡告知書ほか
宮坂武男城郭研究資料	1式	宮坂武男	中世	
信越本線碓氷峠アプト式ラックレール	1本	小西純一	近現代	

(4)　寄託

なし

(5)　修復

なし

3　考古資料

(1)　収集

平成28年度、長野県埋蔵文化財センターから移管された資料はなかった。

(2)　保存

収蔵庫内の資料の点検、要修理遺物の抽出をした。

(3)　整理状況

長野県教育委員会および長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物・写真・調査資料等の整理。

(4) 保存処理・修復・科学分析

・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。

当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。

長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委員会へ必要な技術協力を行なった。

・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、保存処理講習会「出土木製品の保存処理と保管環境」を11月22日に開催し、18名の参加があった。

項目		内容		件名・資料名	処理点数	状況	所管
木器	保存処理	大型木器等PEG処理槽一括処理	PEG法※1	第29シリーズ（B槽）〈社宮司遺跡他〉	1,486	完了	当館
				第29シリーズ（B槽）〈社宮司遺跡他〉	228	継続	当館
				第32シリーズ（C槽）（春山B遺跡他）	253	投入・継続	当館
				第31シリーズ（A槽）（東條遺跡他）	206	継続	当館
		小型木器	FD法※2（FD処理待ち含む）	屋代脆弱（D槽）	30	完了	当館
				東條遺跡木簡、屋代脆弱（D槽）	395	継続	当館
		継続合計			1,082		
		完了合計			1,516		
		PEG処理後写真記録整理		第29シリーズ（B槽）及びD槽〈屋代脆弱〉	1,516	完了	当館
		修復		秋季企画展「樹木と人の交渉史」展示資料の表面処理と修復	0	完了	当館
金属器	保存処理・修復			館蔵金属製品の再処理（南栗・北栗遺跡）	100	完了	当館
				館蔵金属製品の再処理（三の宮・吉田川西遺跡他）	53	継続	
				飯田市龍源寺跡、長野市浅川扇状地遺跡群（三輪地区）、出土金属製品	32	完了	長野県埋蔵文化財センター
				佐久市尾垂遺跡	74	完了	
科学分析	赤外線観察			辰野町旧小野宿「さわや」棟札	1	完了	辰野町教育委員会
				飯田市龍源寺跡　平石	1	完了	長野県埋蔵文化財センター
	X線透過撮影観察			辰野町石臼原遺跡黒曜石混入土器	1	完了	辰野町教育委員会
				栄村乗落遺跡八稜鏡	1		栄村教育委員会
				長野市小島・柳原遺跡塔鏡形合子	1		長野県埋蔵文化財センター
				長野市瑠璃光寺御前立本尊薬師如来坐	1		長野市立博物館
				長野市大室古墳金属・ガラス玉	135		長野市埋蔵文化財センター
				館蔵金属製品（三の宮・吉田川西遺跡）	53		当館
	合計				194		
保存処理・観察・修復・環境管理等問合せ					19件	12 県市町村	

※1　ポリエチレングリコールの２段階処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリ

※2　真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

4 文献史料

(1) 行政文書

①選別・収集

ア　行政簿冊　　441 書目

昨年度より着手した県立歴史委館公文書機能の見直しに関わり、昨年度1件も移管されなかったが、今年度は平成26年度をもって不用決定された本庁及び現地機関文書4,443件のうち、歴史資料として保存すべきもの169件が評価選別され、移管された。

また、平成27年度をもって不用決定された本庁及び現地機関文書 1,157 件（目録上）のうち歴史資料として保存すべきもの 272 書目を評価選別し、移管された。

さらに、見直し作業における試行として、今年度（平成28年度）をもって不用決定される行政文書について、教育委員会事務局内各課対象に現物確認による事前協議を実施した。この作業の中で、数々の課題や問題点などがみえてきた。だだし、この見直し作業は当館の公文書館機能の根幹に関わる問題であり、今後さらに試行の範囲を広げながら続けていく。

イ　県報　　101件（平成28年１月～12月）

ウ　行政資料　　147冊（長野県の行政刊行物、議会資料等）

②整理・保存・公開

ア　くん蒸　　8回　段ボール箱換算（480箱）（行政資料、古文書、展示資料、県立長野図書館、長野県短期大学図書館依頼分など）

イ　行政文書の件名目録作成　　441 冊（平成26・27年度収集分）

ウ　行政文書の公開非公開判定　　0冊

エ　県報製本（業者委託）　　8冊（平成28年１月～12月）

オ　県史収集史料フィルムの洗浄・複製　486本（小県郡（継続））

カ　絵図補修（業者委託）　　本年度は購入古文書（木下尚江自画像）を補修した。

キ　装備（金属除去、箱作り、ラベル貼り等）2,630件

ク　行政簿冊の確認・照合　明治初年～昭和　33,981冊

ケ　行政資料の確認・照合　1,941冊

コ　県報の確認　129冊

サ　資料の公開　　行政資料（議会資料を含む）　147冊

（2）古文書

① 収　集

文　　書　　名	数 量
矢代宿脇本陣柿崎家文書（寄贈）	一括
佐久郡上平尾村森泉家文書（寄贈）	一括
上松徹氏収集資料（寄託）	一括
佐久郡大日向村文書（購入）	一括
下諏訪宿増沢家文書（購入）	一括
木下尚江自画像（購入）	一括
東筑摩郡山本村高橋家文書（購入）	一括
分合村改称役置位置二関スル書類（購入）	一括
大槻家文書（購入）	一括
市河文書（二宮氏泰書状）（購入）	一括

② 整　理

文書番号	文　　書　　名	点　数
5－37	筑摩郡犬飼村文書	3550
1－11	室賀家資料	868
7－37	矢代宿脇本陣柿崎家文書	415
5－36	筑摩郡隠岐家文書	6303
2－23	佐久郡大日向村文書	920
－	下諏訪宿増沢家文書	200
1－12	生島足島神社神官宮下家文書	328
9－28	水内郡浅川村小山家資料	218
7－36	埴科郡生萱村高野家文書	164
7－35	松代藩伊藤家文書	273
3－16	高島藩士小松家文書	44
0－16	栗岩英治関係資料	670
0－7	今井信雄氏収集資料	487
－	筑摩郡潮沢村文書	100
5－38	松本藩士荒川家文書	107
2－22	佐久郡立科番所関係文書	114
4－23	伊那郡片桐村文書	74
7－38	更級郡塩崎村長谷組文書	11
5－40	安曇郡大町組大出村文書	7
7－6	児玉勝子資料（追加）	4
3－15	諏訪郡瀬沢村三村家文書（追加）	47
1－14	小県郡上田銀行関係資料	18
9－29	水内郡妻科村後町組宮澤家文書	37

③ 公　開（web 上公開分も含む）

文書番号	文　　書　　名	点　数
0－7	今井信雄氏収集資料	487
0－16	栗岩英治関係資料	670
0－99－3	県立歴史館収集文書（雑）	8
1－11	室賀家資料	868
3－16	高島藩士小松家文書	44
5－36	筑摩郡潮沢村隠岐家文書	6303
7－35	松代藩伊藤家文書	273
7－36	埴科郡生萱村高野家文書	164
7－37	矢代宿脇本陣柿崎家文書	415
9－27	水内郡浅川村小山家文書	218
4－23	伊奈郡片桐村文書	74
5－40	安曇郡大町組大出村文書	7
7－38	更級郡塩崎村長谷組文書	11
0－17	上松徹氏収集資料	13

④ 収蔵文書目録 16 の刊行

文書番号	収　録　文　書　名
0－6	丸山清俊資料

Ⅸ 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等に関連して実施（掲載）した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内へのチラシ回覧、長野県内の博物館・学校などの諸機関等へチラシ・ポスター配付等の広報を実施している。また、各報道機関への案内も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	八十二文化財団	「提携文化施設　催しのご案内」	情報紙	
	日本博物館協会	長野県の遺跡発掘2016	ホームページ	
	読売新聞	長野県の遺跡発掘2016	新聞	
	県教委メールマガジン	歴史館でこどもの日	メールマガジン	5月号
	信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘2016　講演会	新聞	週間ガイド
	朝日新聞	長野県の遺跡発掘2016	新聞	有料広告
	読売新聞	長野県の遺跡発掘2016	新聞	
	信濃毎日新聞	歴史館でこどもの日	新聞	週間ガイド
5月	ケーブルネット千曲ガイド	歴史館でこどもの日	チラシ	
	ハートピアすまいる	歴史館でこどもの日	折り込み広告	有料・中島新聞店
	長野県プレスリリース	歴史館ふるさと講座 in 千曲	プレスリリース	
	日本博物館協会	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	ホームページ	
	日本博物館協会	歴史館ふるさと講座 in 千曲⑤	ホームページ	
	日本博物館協会	考古学講座①	ホームページ	
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲	新聞	じょうほう交差点
	県教委メールマガジン	歴史館ふるさと講座 in 千曲 in 大桑	メールマガジン	6月号
6月	ケーブルネット千曲ガイド	歴史館ふるさと講座	チラシ	
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲①	新聞	週間ガイド
	日本博物館協会	歴史館で夏休み	ホームページ	
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲②	新聞	週間ガイド
	八十二文化財団	「提携文化施設　催しのご案内」	情報紙	
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲③	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	ふるさと長野の本「山」	新聞	書籍紹介
	県教委メールマガジン	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	メールマガジン	7月号
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲④	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	歴史館ふるさと講座 in 千曲⑤セミナー案内	新聞	週間ガイド
7月	ケーブルネット千曲ガイド	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	チラシ	
	読売新聞	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	新聞	県内博物館情報
	長野県プレスリリース	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	プレスリリース	
	FMぜんこうじスポットCM	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	ラジオ放送	～7/15、有料広告
	信濃毎日新聞	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	新聞	週間ガイド
	高校野球選手権長野大会	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	冊子	有料広告
	信濃毎日新聞	当館紹介（トロフィー形土器）	新聞	もうすぐ夏休み
	WAPPLE情報	当館紹介	インターネット	
	日本博物館協会	秋季企画展「木曽の宝」	ホームページ	

	日本博物館協会	秋季企画展「木曽の宝」木曽馬と遊ぼう	ホームページ	
	土木学会 facebook	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	インターネット	
	県教委メールマガジン	歴史館で夏休み	メールマガジン	8月号
	長野県プレスリリース	歴史館から考える戦争と平和	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」講演会	新聞	週間ガイド
	ハートピアすまいる	歴史館で夏休み	折り込み広告	有料・中島新聞店
8月	ケーブルネット千曲ガイド	歴史館で夏休み　他	チラシ	
	日本博物館協会	秋季企画展「木曽の宝」伝統芸能に親しもう	ホームページ	
	日本博物館協会	秋季企画展「木曽の宝」関連イベント	ホームページ	
	八十二文化財団	「提携文化施設　催しのご案内」	情報紙	
	信濃毎日新聞	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」上映会・見学会	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	歴史館から考えた戦争と平和①	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	伊那文こどもまつり	新聞	週間ガイド
	県教委メールマガジン	秋季企画展「木曽の宝」	メールマガジン	9月号
	信濃毎日新聞	歴史館から考えた戦争と平和②	新聞	週間ガイド
9月	信濃毎日新聞	歴史館から考えた戦争と平和③	新聞	週間ガイド
	ケーブルネット千曲ガイド	歴史館から考えた戦争と平和　他	チラシ	
	長野県プレスリリース	秋季企画展「木曽の宝」	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	歴史館から考えた戦争と平和④	新聞	週間ガイド
	日本博物館協会	秋季企画展「木曽の宝」関連イベント	ホームページ	
	FM ぜんこうじスポットCM	秋季企画展「木曽の宝」	ラジオ放送	～9/23、有料広告
	信濃毎日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	週間ガイド
	長野県プレスリリース	秋季企画展「木曽の宝」木曽馬と遊ぼう	プレスリリース	
	朝日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	有料広告
	毎日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	
	県教委メールマガジン	秋季企画展「木曽の宝」関連イベント	メールマガジン	10月号
	日本歴史	当館企画展案内	冊子	
	信濃毎日新聞	秋季企画展「木曽の宝」木曽馬と遊ぼう	新聞	週間ガイド
	長野県プレスリリース	秋季企画展「木曽の宝」伝統芸能に親しもう	プレスリリース	
10月	ケーブルネット千曲ガイド	秋季企画展「木曽の宝」	チラシ	
	中日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	有料広告
	雑誌新聞総かたろぐ	当館刊行物紹介	冊子	
	信濃毎日新聞	図録「木曽の宝」	新聞	新刊案内
	日本博物館協会	冬季展「信濃国の城と城下町」	ホームページ	
	日本博物館協会	冬季展「信濃国の城と城下町」講演会	ホームページ	
	中日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	有料広告
	信濃毎日新聞	秋季企画展「木曽の宝」伝統芸能に親しもう	新聞	週間ガイド
	県教委メールマガジン	秋季企画展「木曽の宝」関連イベント　他	メールマガジン	11月号
	中日新聞	秋季企画展「木曽の宝」	新聞	有料広告
	長野県境職員互助組合報	当館紹介	機関誌	
	信濃毎日新聞	図録「木曽の宝」	新聞	新刊案内
	長野県プレスリリース	秋季企画展「木曽の宝」伝統芸能に触れる	プレスリリース	

11月	信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘2016　佐久巡回展	新聞	週間ガイド
	日本博物館協会	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	ホームページ	
	日本博物館協会	やさしい信濃の歴史講座	ホームページ	
	信濃毎日新聞	図録「木曽の宝」	新聞	新刊案内
	県教委メールマガジン	やさしい信濃の歴史講座、冬季展関連イベント	メールマガジン	12月号
	信濃毎日新聞	近世史セミナー	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	平昌・長野冬の祭典	新聞	
12月	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座 in 松本	新聞	週間ガイド
	ケーブルネット千曲ガイド	やさしい信濃の歴史講座	チラシ	
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座①	新聞	週間ガイド
	八十二文化財団	「提携文化施設　催しのご案内」	情報紙	
	日本博物館協会	やさしい信濃の歴史講座	ホームページ	
	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」講演会	新聞	週間ガイド
	長野県プレスリリース	信州の山城研究資料寄贈	プレスリリース	
	長野県プレスリリース	冬季展「信濃国の城と城下町」開催	プレスリリース	
	県教委メールマガジン	冬季展「信濃国の城と城下町」	メールマガジン	1月号
	長野県プレスリリース	県立歴史館協議会委員募集	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座②	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座③	新聞	週間ガイド
1月	ケーブルネット千曲ガイド	冬季展「信濃国の城と城下町」	チラシ	
	日本博物館協会	やさしい信濃の歴史講座	ホームページ	
	日本博物館協会	長野県の遺跡発掘2017	ホームページ	
	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	新聞	週間ガイド
	毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」	新聞	
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座④	新聞	週間ガイド
	県教委メールマガジン	やさしい信濃の歴史講座　他	メールマガジン	
	長野県プレスリリース	ケーブルテレビ連盟との連携協定	プレスリリース	
	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	掘ってわかった信州の原始・古代	新聞	週間ガイド
2月	信濃毎日新聞	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座 in 松本	新聞	週間ガイド
	日本博物館協会	長野県の遺跡発掘２０１７関連講演	ホームページ	
	八十二文化財団	「提携文化施設　催しのご案内」	情報紙	
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座⑥	新聞	週間ガイド
	県教委メールマガジン	長野県の遺跡発掘2017　他	メールマガジン	
3月	どこいこ観光関連ガイド	当館紹介	冊子	内容更新
	まっぷるマガジン信州	当館紹介	冊子	内容更新
	ケーブルネット千曲ガイド	長野県の遺跡発掘２０１７	チラシ	
	ケーブルネット千曲ガイド	親子映画会	チラシ	
	日本博物館協会	歴史館で子どもの日	ホームページ	
	長野県プレスリリース	長野県の遺跡発掘２０１７	プレスリリース	

	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座⑦	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座 in 飯田	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	親子映画会	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘２０１７	新聞	週間ガイド
	SBC ラジオ・スポット CM	長野県の遺跡発掘２０１７	ラジオ放送	
	信濃毎日新聞	公開講座「明治の村地図を楽しむ」	新聞	文化短信
	信濃毎日新聞	公開講座「明治の村地図を楽しむ」	新聞	週間ガイド

記事・報道

当館の企画展示、講座等に関する記事・番組等は以下のとおりである。

月	掲載・掲示	タイトル	規 格	備 考
4月	屋代有線放送	遺跡発掘2016、歴史館でこどもの日 ご案内	有線放送	
	中日新聞	長野県立歴史館の館長に就任 笹本正治さん	記事	
	博物館研究４月号	長野県の遺跡発掘2016	冊子	日本博物館協会
	博物館研究４月号	長野県の遺跡発掘2016 関連講座	冊子	日本博物館協会
	信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘2016 読み解いて 新たな発見	コラム	遺跡発掘2016 関連
5月	中日新聞	信州の文化伝えたい 県立歴史館に就任 笹本正治さん	記事	
	中日新聞	約8万年前に石器か	記事	
	長野市民新聞	新任・着任 笹本正治さん	記事	
	信濃毎日新聞	なぜ壊し なぜ埋めたのか 遺物に見る精神文化	コラム	遺跡発掘2016 関連
	信濃毎日新聞	縄文へ行こう	記事	動物装飾付釣手土器紹介
	屋代有線放送	今年度の講座・企画展のご案内	有線放送	
	信濃毎日新聞	栄村ひんご遺跡 住居跡多数 縄文の集落	コラム	遺跡発掘2016 関連
	中日新聞	400年前の縄文生活 明科北村遺跡の人骨など展示	記事	遺跡発掘2016in 安曇野
	信濃毎日新聞	個性豊かな土偶の表情 小型・大型 異なる祭式	コラム	遺跡発掘2016 関連
	博物館研究５月号	長野県の遺跡発掘2016	冊子	日本博物館協会
	博物館研究５月号	歴史館でこどもの日	冊子	日本博物館協会
	中日新聞	信州戦国史新たな発見披露 ふるさと講座	記事	ふるさと講座 in 千曲関連
	毎日新聞	「信濃の戦国武将たち」を出版	記事	ふるさと講座 in 千曲関連
6月	信濃毎日新聞	浅川扇状地遺跡群 並ぶ古墳時代の墳墓	コラム	遺跡発掘2016 関連
	読売新聞	足元の歴史知って ふるさと講座 あすから第一弾	記事	ふるさと講座 in 千曲関連
	信濃毎日新聞	明科廃寺周辺「科野」検証の重要地域	コラム	遺跡発掘2016 関連
	須高ケーブルテレビ	ぼくらの時間 学校見学	CATV	
	教育指導時報	子どもたちに考える力をつける県立歴史館	機関誌	
	信濃毎日新聞	戦国武将の生き方 主替え乱世を乗り切る	コラム	ふるさと講座 in 千曲関連
	屋代有線放送	遺跡発掘2016 解説	有線放送	遺跡発掘2016 関連
	信濃毎日新聞	ふるさと長野の本「山」		
	信濃毎日新聞	真田氏にとっての砥石城「上田の古城」確証なく	コラム	ふるさと講座 in 千曲関連
	須高ケーブルテレビ	ぼくらの時間 学校見学	CATV	
	博物館研究６月号	長野県の遺跡発掘2016	冊子	日本博物館協会
	信濃毎日新聞	消えた中世納骨霊場 近世 墓地と一体化か .	コラム	ふるさと講座 in 千曲関連
	ケーブルネット千曲ガイド	ふるさと講座 in 千曲	CATV	ふるさと講座 in 千曲関連

7月	信濃毎日新聞	宝賀氏史料200点余信州に　子孫が所蔵　県立歴史館に寄贈	記事	
	信濃毎日新聞	丸子鉄道の開業　地域生活校の夢担う	コラム	夏季企画展関連
	週刊長野	明治・大正の県内鉄道　写真や図面など100点	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	県内遺跡発掘　昨年度の成果は	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	長野日報	土偶コーナーも　県文で「長野県の遺跡発掘」	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	信濃毎日新聞	県内失われた鉄路の歴史	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	信濃鉄道と才賀藤吉　大糸線現ルートを申請	コラム	夏季企画展関連
	屋代有線放送	夏季企画展、歴史館で夏休みご案内	有線放送	
	長野市民新聞	「信州の鉄道」企画展	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	草津軽便鉄道沿線鳥瞰図　鉄路で結ばれた証を今に	コラム	夏季企画展関連
	南信州新聞	別府中島遺跡の土器も　伊那市で県内の遺跡発掘展	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	長野日報	27年度発掘の遺跡紹介　古代からの逸品	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	中日こどもウィークリー	山と日本人　深い関わり	記事	
	博物館研究7月号	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	冊子	日本博物館協会
	博物館研究7月号	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」関連講座	冊子	日本博物館協会
	信濃毎日新聞	碓氷峠の鉄道開通　殖産興業・文明開化　夢運ぶ	コラム	夏季企画展関連
	毎日新聞	「幻の路線」振り返る　県立歴史館で	記事	夏季企画展関連
	長野日報	土器移動の一端　垣間見る　古代からの逸品	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	FMぜんこうじ	夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道」	ラジオ放送	電話出演
	中日新聞	井川城跡、林城跡　国史跡指定を	記事	
8月	信濃毎日新聞	校歌に山が多く登場　県民の深い思い示す	コラム	ブックレット「山」関連
	信濃毎日新聞	寄贈された軍隊手帳　兵士としての2年半　記録	コラム	「戦争と平和」関連
	読売新聞	信州の鉄道の歴史見る	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	学校登山の伝統つなごう	社説	ブックレット「山」関連
	信濃毎日新聞	戦国時代の戦争むごかった	記事	「戦争と平和」関連
	毎日新聞	市民が一番積極的に　連続講座　戦国時代の戦争	記事	「戦争と平和」関連
	信濃毎日新聞	長野軍需工場の記憶 県立歴史館に寄贈	記事	
	信濃毎日新聞	愛された森林鉄道「遺産」として活用期待	コラム	夏季企画展関連
	中日新聞	敗戦や幻の路線紹介　県立歴史館当時の史料90点	記事	夏季企画展関連
	信濃毎日新聞	「勾玉」作り　真剣に　千曲の県立歴史館でイベント	記事	歴史館で夏休み
	長野市民新聞	脚光浴びる山城　県立歴史館・遠藤主事に聞く	記事	
	信濃毎日新聞	戦争遺跡　保存の意義増す	記事	
	信濃毎日新聞	戦争は避けられなかったか　印象的な三つの言葉	コラム	「戦争と平和」関連
	中日新聞	縄文人国300体が出土した北村遺跡概要を聞く	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	長野日報	展示解説　質疑応答に熱　古代からの逸品	記事	遺跡発掘2016in伊那文
	信濃毎日新聞	戦争激化と陸軍墓地　戦意高揚の空間に変化	コラム	「戦争と平和」関連
	毎日新聞	太平洋戦争「国の失策」陸海軍、情報共有怠る	記事	「戦争と平和」関連
9月	市民タイムス	信州での発掘品集合　今日から巡回展	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	中日新聞	県立歴史館の巡回展　土偶、瓦…遺跡品に浸って	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	市民タイムス	「木曽の宝」17日から企画展	記事	秋季企画展関連
	中日新聞	林城の歴史体感　松本で講座　麓から主郭まで歩く	記事	
	信濃毎日新聞	満州の中の埴科・更級　開拓団の悲劇と教訓	コラム	「戦争と平和」関連
	中日新聞	虫歯なく、二重で福耳…　北村遺跡の縄文人骨	記事	遺跡発掘2016in安曇野

	市民タイムス	縄文の「北村人」長命だった?	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	毎日新聞	満蒙開拓団の悲劇知って	記事	「戦争と平和」関連
	信濃毎日新聞	縄文時代の木曽　東西日本　交流の最前線	コラム	秋季企画展関連
	屋代有線放送	秋季企画展「木曽の宝」	有線放送	
	信濃毎日新聞	北村遺跡の縄文人暮らしぶり解説	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	中日新聞	木曽の宝に触れる　きょうから県立歴史館	記事	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	木曽の文化・歴史たどる企画展	記事	秋季企画展関連
	毎日新聞	県立歴史館で「木曽の宝」展	記事	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	開田高原の旧石器時代　文化の十字路　柳又遺跡	コラム	秋季企画展関連
	長野市民新聞	文化の十字路　木曽	記事	秋季企画展関連
	屋代有線放送	歴史館にようこそ　秋季企画展「木曽の宝」		
	信濃毎日新聞	秋季企画展「木曽の宝」木曽馬	高原調	
	信濃毎日新聞	木曽義仲の実像　朝廷儀式　受け継いだ武士	コラム	秋季企画展関連
	ケーブルネット千曲	秋季企画展「木曽の宝」	CATV	秋季企画展関連
10月	中日新聞	発掘調査の進展報告　明科廃寺とエリ穴遺跡	記事	遺跡発掘2016in安曇野
	信濃毎日新聞	南木曽・田立の花馬祭り　交流で育まれた伝統文化	コラム	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	木曽谷の開発　礎つくった信濃国の人々	コラム	秋季企画展関連
	屋代有線放送	秋季企画展「木曽の宝」	有線放送	
	信濃毎日新聞	南木曽に残る円空の仏像　宗教家の一面　伝える梵字	コラム	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	国境を越える信仰　県立歴史館長語る	記事	
	FMぜんこうじ	秋季企画展「木曽の宝」	ラジオ放送	電話出演
	信濃毎日新聞	本土決戦　国民に徹底	記事	
	週刊上田	秋季企画展「木曽の宝」	記事	秋季企画展関連
	週刊長野	木曽の文化財や美術工芸品	記事	秋季企画展関連
	読売新聞	県立歴史館で企画展　木曽の歴史たどる	記事	秋季企画展関連
	博物館研究10月号	秋季企画展「木曽の宝」	冊子	日本博物館協会
	博物館研究10月号	秋季企画展「木曽の宝」関連講座	冊子	日本博物館協会
	信濃毎日新聞	陶器の墨書「大野保」「政所」上級貴族も開発した木曽	コラム	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	小菅山で知る　修験道の魅力	記事	
	文化財信濃	山国にも「津波がある」	機関誌	
11月	信濃毎日新聞	木曽堆朱塗の座卓　技と地の利で全国に販路	コラム	秋季企画展関連
	SBCラジオ	文化の日は「県立歴史館」へ行こう!	県民ラジオ	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	斜面	コラム	ブックレット「山」
	信濃毎日新聞	絶滅を免れた木曽馬　保護の取り組み紹介	コラム	秋季企画展関連
	大人んサー	幸村が「浪人」ではなく「牢人」である理由	インターネット	
	信濃毎日新聞	縄文へ行こう　縄文土器　文様の不思議	記事	
	毎日新聞	城下町発掘調査　成果と現状講演	記事	
	信濃毎日新聞	「夜明け前」と街道　藤村のときめきの源	コラム	秋季企画展関連
	市民タイムス	ふるさと木曽　見つめ直す旅	読書投書欄	
	中日新聞	松本に残る山城　価値十分　県立歴史館笹本館長に聞く	記事	
	信濃毎日新聞	災害時　史料をどう守る　県立歴史館で講座	記事	県史料保存活用連絡協議会
	屋代有線放送	やさしい信濃の歴史講座のご案内	有線放送	
	屋代有線放送	「真田氏戦国乱世をかけめぐる」解説	有線放送	

	信濃毎日新聞	高遠石工　守屋貞治の石仏　顔や衣の感触まで伝わる	コラム	秋季企画展関連
	博物館研究11月号	秋季企画展「木曽の宝」	冊子	日本博物館協会
	博物館研究11月号	秋季企画展「木曽の宝」関連講座	冊子	日本博物館協会
	信濃毎日新聞	木曽の宝とは　伝統を受け継ぐ人々	コラム	秋季企画展関連
12月	屋代有線放送	やさしい信濃の歴史講座「山と信州」	有線放送	
	信濃毎日新聞	信州の山の信仰　自然への畏敬と感謝	コラム	「やさしい信濃」関連
	信濃毎日新聞	屋代南高生自作のカレンダー　県立歴史館に　切り絵でPR	記事	
	信濃毎日新聞	近世武士の暮らし　鳥を飼いのんびりと	コラム	冬季展関連
	信濃毎日新聞	信州の知　連携へフォーラム	記事	
	信濃毎日新聞	江戸時代の城や町人の生活紹介	記事	冬季展関連
	毎日新聞	城と城下町展　千曲で始まる	記事	冬季展関連
	屋代有線放送	冬季展「信濃国の城と城下町」解説	有線放送	
	信濃毎日新聞	志賀高原を開発　神津藤平　長野五輪　結ばれた夢	コラム	「やさしい信濃」関連
	信濃毎日新聞	岡谷の宮坂さん　山城跡の史料寄贈	記事	
	博物館研究12月号	冬季展「信濃国の城と城下町」関連講座	冊子	日本博物館協会
	博物館研究12月号	やさしい信濃の歴史講座	冊子	日本博物館協会
1月	週間長野	県内10の近世城郭　発掘調査の成果紹介	記事	冬季展関連
	屋代有線放送	新年特別企画　歴史館にようこそ	有線放送	
	長野市民新聞	県立歴史館の西山さんに聞く　クニ造りの過程分かる	記事	
	信濃毎日新聞	八ヶ岳から霧ヶ峰南麓の縄文人　標高毎に異なる資源活用	コラム	「やさしい信濃」関連
	信濃毎日新聞	栗岩英治の史料666点公開	記事	
	中日新聞	出土品が語る豊かな生活　県内10の近世城郭と城下町	記事	冬季展関連
	信濃毎日新聞	県立歴史館　現代史研究・展示検討へ　17年度に内部組織発足	記事	
	市民タイムス	「木曽の宝」展を見る	コラム	秋季企画展関連
	信濃毎日新聞	上田城の発掘調査　真田氏の館跡？発見	コラム	冬季展関連
	屋代有線放送	やさしい信濃の歴史講座「山と教育」	有線放送	「やさしい信濃」関連
	信濃毎日新聞	佐久間象山の影響考える	記事	
	長野市民新聞	城跡で出土の瓦など　県立歴史館で350点を展示	記事	冬季展関連
	信濃毎日新聞	韓国と日本の文化交流　シナノと韓半島の交流について	記事	
	信濃毎日新聞	県立歴史館で初の防災訓練	記事	文化財防火デー
	信濃毎日新聞	県内でも広まった学校林　教育充実への熱い思い	コラム	「やさしい信濃」関連
	NBS長野放送	信濃国の城探訪 松本城・上田城	テレビ放送	冬季展関連
	信濃毎日新聞	出土した陶磁器から分かる流通　江戸時代の松本と松代で違い	コラム	冬季展関連
	博物館研究1月号	冬季展「信濃国の城と城下町」	冊子	日本博物館協会
	博物館研究1月号	冬季展「信濃国の城と城下町」・関連講座	冊子	日本博物館協会
	上田ケーブルテレビジョン	ケーブルテレビ協議会との連携協定調印	CATV	
	信濃毎日新聞	県立歴史館の活動配信へ　県内ケーブルテレビ団体と協定	記事	
	飯綱町広報誌	よみがえる幻の矢筒城と城下町	記事	
	東信ジャーナル	信濃の歴史をお茶の間で　地域連携事業実施に協定	記事	
2月	信濃毎日新聞	江戸・明治の画家たち　見いだされた山岳美	コラム	「やさしい信濃」関連
	屋代有線放送	冬季展「信濃国の城と城下町」解説	有線放送	
	信濃毎日新聞	「塔婆形合子」のふた出土	記事	遺跡発掘2017関連
	読売新聞	1200年前の仏具出土　長野の遺跡郷土史解明に光	記事	遺跡発掘2017関連

	信濃毎日新聞	「蒙」から迫る満蒙開拓	記事	
	信濃毎日新聞	江戸時代の飯田城下町　喫茶文化　町民に普及	コラム	冬季展関連
	長野市民新聞	篠ノ井駅周辺で通年教養講座	記事	
	信濃毎日新聞	御代田の古刹・真楽寺　浅間山「畏れつつ敬う」	コラム	「やさしい信濃」関連
	屋代有線放送	やさしい信濃の歴史講座「山と信仰」	有線放送	
	中日新聞	縄文時代中期の千曲川－信濃川流域　同一文化の可能性	記事	
	信濃毎日新聞	城下町の上水道　信濃でも世界の最先端	コラム	冬季展関連
	博物館研究2月号	冬季展「信濃国の城と城下町」	冊子	日本博物館協会
	博物館研究2月号	やさしい信濃の歴史講座	冊子	日本博物館協会
	ケーブルネット千曲	冬季展「信濃国の城と城下町」	CATV	冬季展関連
	ケーブルネット千曲	戦国期における信濃国の城と城下町	CATV	冬季展関連
3月	信濃毎日新聞	江戸・明治の雛人形　庶民のしたたかさも	コラム	常設展展示替え関連
	屋代有線放送	やさしい信濃の歴史講座「山と歴史」	有線放送	
	ケーブルネット千曲	信濃国の城と城下町　講座①	CATV	
	信濃毎日新聞	松本平東西の2寺院　中世に広大な信仰空間	コラム	やさしい信濃関連
	ケーブルネット千曲	信濃国の城と城下町　講座②	CATV	
	中日新聞	後期旧石器時代の狩猟具発掘	記事	
	屋代有線放送	「長野県の遺跡発掘２０１７」解説	有線放送	
	信濃毎日新聞	旧石器時代の長和・広原遺跡　黒曜石採取滞在の適地	コラム	遺跡発掘2017関連
	週刊長野	小島・柳原遺跡群など発掘調査の成果を展示	記事	遺跡発掘2017関連
	ケーブルネット千曲	信濃国の城と城下町　講座③	CATV	
	産経新聞	長野発出土の「塔鏡形合子」展示	記事	遺跡発掘2017関連
	信濃毎日新聞	全県発信したい出土品を一堂に	記事	遺跡発掘2017関連
	信濃毎日新聞	明治の村地図を楽しむ　先人の試行錯誤思う	コラム	絵図地図公開講座関連
	信濃毎日新聞	県立歴史館　明治の村地図　分析結果を報告	記事	絵図地図公開講座関連
	博物館研究3月号	長野県の遺跡発掘2017	冊子	日本博物館協会
	博物館研究3号	やさしい信濃の歴史講座	冊子	日本博物館協会
	長野市民新聞	歴史館がオリジナルピン　アルクマと縄文土器	記事	
	信濃毎日新聞	街に集い学び交流	記事	
	長野市民新聞	県立歴史館黒曜石コーナーも　県内出土の600点展示	記事	遺跡発掘2017関連
	信濃毎日新聞	戦争に阻まれた国際観光　平和につながる相互理解	コラム	

－資　料－

Ⅰ 資料利用

（点）

資料利用	展示資料（復元・模型等）	考古資料（一括資料も1点）	文献史料（文書・絵図等）
貸　出	10	10	12
掲　載	25	28	52
複製（資料・写真）	2	0	16

Ⅱ 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数		閲覧者数の内訳							複写件数	撮影件数	レファレンス件数	HPアクセス数	資料受入数	図書登録数
	右＝1日平均		図　書	歴史情報	映像情報	行政文書	古文書	考古資料	その他						
4	242	9	188	8	0	30	8	3	5	46	73	16	5,449	354	97
5	294	11	250	12	6	9	5	4	8	73	65	8	6,161	236	138
6	330	13	271	22	0	20	9	3	5	61	65	4	6,173	205	171
7	421	16	366	11	1	12	14	3	14	101	102	15	6,563	234	98
8	395	15	354	6	0	11	12	8	4	88	99	8	6,600	162	145
9	312	12	241	11	4	22	16	12	6	88	175	7	5,896	128	70
10	319	12	278	3	0	8	16	6	8	64	77	2	5,634	119	51
11	408	18	358	11	0	9	14	11	5	54	117	8	5,327	98	62
12	265	13	228	7	0	7	14	4	5	65	70	3	5,316	152	44
1	399	19	371	2	7	5	3	2	9	54	8	4	5,466	97	66
2	511	26	468	8	0	13	12	3	7	138	108	3	5,248	98	45
3	198	9	157	14	0	14	4	7	2	55	269	5	6,767	255	98
計	4,094	14	3,530	115	18	160	127	66	78	887	1,228	83	70,600	2,156	1,098

Ⅲ 利用者

平成28年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		巡回展		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	受講者等数	日数	閲覧者数	日数	受講者数	日数	
4	3,414	28	3,397	28			1,178	10	242	28	232	4	8,463
5	7,335	27	7,320	27			3,186	20	294	27	696	12	18,831
6	7,259	26	6,608	23			3,852	25	330	26	548	7	18,597
7	3,953	27	1,833	20	580	20	1,824	20	421	27	735	8	9,346
8	3,059	26	2,359	25	622	17	870	12	395	268	709	5	8,014
9	2,805	27	1,231	13	991	24	2,010	15	312	273	706	10	8,055
10	2,948	26	2,330	26	1,688	16	1,689	20	319	267	2,242	13	10,506
11	4,266	23	3,221	22	942	12	2,400	19	408	234	1,019	12	12,238
12	991	22	577	8			882	10	265	221	1,134	8	3,849
1	1,039	24	1,004	24			687	12	399	242	337	6	3,466
2	1,410	23	1,346	23			1,227	14	511	230	564	7	5,058
3	1,371	22	973	12			2,089	10	198	226	608	8	5,213
計	39,850	301	32,199	251	4,823	89	21,894	187	4,094	301	9,530	100	112,390

※巡回展の会場：長野県伊那文化会館（7月9日～8月21日）、安曇野市豊科郷土博物館（9月3日～10月16日）
佐久市近代美術館（10月29日～11月13日）

入館者数等推移

区分 / 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等（出前講座含む）	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
合計	1,131,287	729,550	251,370	196,388	2,308,595

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数　　夏企＝企画展　　春季＝季節展

区分 / 年度	名称	期日	入館者数
平成6年度　企画展	開館記念　赤い土器のクニ	11/3～12/11　38日	29,848
平成7年度　夏企	絵図にみる信濃 －江戸時代の村や町－	7/15～8/20　32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26　30日	10,873
平成8年度　夏企	縄文人の一生 －北村遺跡に生きた人々－	7/20～8/25　32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃 －掘り出された地方行政とくらし－	10/5～11/10　31日	8,450
平成9年度　夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県の世界の交流－	7/19～8/24　32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化 －シルクの歴史と文化－	10/12～11/16　31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1　29日	1,174
平成10年度　特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20　14日	-
夏企	古代シナノの武器と馬具 －古墳時代の武人のすがた－	7/18～8/23　32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23　33日	7,912
平成11年度　館蔵品展	館蔵品展	4/4～5/9　33日	9,866
夏企	信濃名宝展 －鎌倉時代の文化財－	10/17～11/23　33日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 －江戸時代　信濃の科学技術－	7/16～8/22　38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器－県指定重要文化財神代田町川原田遺跡出土品とその周辺－	1/15～2/27　38日	3,719
平成12年度　夏企	千曲川歴史紀行 －ともに生きた人びとの記録－	10/9～11/14　32日	4,443
秋企	歴史の宝庫　秋葉みち －信遠古道をたどる－	7/22～8/27　32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12～1/28　36日	2,117
平成13年度　館蔵品展	屏風の世界	5/29～7/1　30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20～9/2　40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう －１９世紀北信濃の文芸ネットワーク－	10/2～11/11　36日	9,332

特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26～3/3	32日	3,431
平成14年度 テーマ	北村縄文人の時代 －仮面土偶をつくった人びと－	5/25～6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 －信山育材－	7/20～9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年　中山道 －信濃二十六宿と間宿－	10/5～11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 －田中平八コレクションと北信濃の雛人形－	1/25～3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん －秘仏の寺ものがたり－	5/16～6/22	33日	6,579
夏企	ＳＯＳふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－	7/15～8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－	9/27～10/26	26日	－
秋企	もみじ　夕焼け　里の秋 －唱歌・童謡のふるさと信州－	9/27～11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 －石器時代の槍と斧－	1/10～2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 －子どもの祝い－	1/10～2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い　人びとの祈り －古代のまつり－	5/22～6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 －街道を行き来した人・物・文化－	7/17～8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 －義仲から幸村まで－	10/2～11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1～1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 －横浜を目指した信州の生糸商人たち－	1/29～3/6	32日	2,954
平成17年度 特別展	里帰りした赤羽刀 －ＧＨＱ接収刀の輝き－	5/21～6/26	37日	4,057
夏企	地下４ｍの縄文伝説－屋代遺跡群 愛と出会いの４千年－	7/16～9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語－団十郎も須磨子もやってきた－	10/1～11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢　極楽浄土への道しるべ	11/19～1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 －身だしなみとよそおい－	1/28～3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代－神津猛・米山一政寄贈資料を中心に－	5/19～6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 －時代を駆けた草莽たち－	7/22～8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち －信州の一五年戦争－	9/30～11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ －新指定長野県宝と歴史館のお宝－	11/25～1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見－長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19～7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 －わたしの城下町－	7/21～8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 －新発見考古速報展－	9/1～9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13～11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8～1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 －雛人形と郷土の人形－	1/26～3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る －縄文から近世まで－	5/24～6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の３５０年	7/19～8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25～11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ －長野県宝と歴史館のお宝－	12/13～3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰－流転と遍歴の勧化－	4/11～6/7	51日	11,776
夏季	信州　知の遺産の系譜 －歴史を記録した先人たち－	8/1～9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う －信州弥生文化の確立－	9/26～11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲ－諏訪地域の“いのり”と“まつり”－	12/12～2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり　平和への祈り	5/29～7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想い－日本人はどのように埋葬されてきたか－	7/31～8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺　西の若澤寺	9/18～11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳ －文字のちから－	12/11～2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝 －かたりつがれた御家の由緒－	5/28～7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬく－信濃武士市河氏の４００年－	7/23～9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方－浮世絵版画から観光パンフレットまー	9/23～11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴ－郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10～2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10～5/13	58日	－
平成24年度 春企	長野県の満洲移民－三つの大日向をたどるー	5/26～7/16	45日	8,871
夏季	戦争と宣伝　阿智村ポスターが語る	7/28～9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展　前期展	9/15～11/4	44日	6,871
	〃　後期展	11/10～12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品－姫君様の婚礼道具から雛人形まで－	1/12～3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史 －大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球－	6/29～8/18	45日	4,608
秋企	刃が語る信濃	9/14～11/4	45日	7,904

冬季	山国の水害－戌の満水と善光寺地震－	11/23～1/19　41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州	2/1～3/9　29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014－長野県埋蔵文化財センター速報展－	3/21～6/1　65日	12,680
平成26年度			
館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14～7/13　26日	4,794
夏季	山とともに生きる－「信州山の日」制定を記念して－	7/26～8/31　33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014（伊那会場）	7/19～8/24　31日	1,602
秋企	信濃武士の決断	9/27～11/9　38日	7,052
冬季	縄文土器展	11/29～2/1　45日	2,131
平成27年度　春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1) ～5/17　42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30～7/12　37日	8,332
夏企	長野県民の1945	7/25～9/15　45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史	10/9～11/29　49日	6,570
冬企	地図の明治維新	12/9～2/28　58日	2,838
巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12～6/26　95日	18,438
平成28年度　夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9～8/28　45日	4,192
秋企	木曽の宝	9/17～11/27　61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町	12/17～2/26　55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18～ (3/31) 12日	973

Ⅳ 収蔵史資料数

区分／年度	展示資料（点）	増加数（点）	図書（冊）	増加数（冊）	考古資料（箱）	受入数（箱）	文献史料（点）	増加数（点）
平成６年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
７年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
８年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
９年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714

※考古資料の総数は、整理後の増減を含めた年度末収納数です。
　28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

一 日 誌 一

4月1日（金）　千曲市あんずまつり開始
4日（月）　あんずまつり対応開館
10日（日）　ボランティア総会
11日（月）　あんずまつり対応開館
23日（土）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」講演会・遺跡報告会
5月4日（水）　歴史館でこどもの日
5日（木）　歴史館でこどもの日
12日（木）　県博物館協議会総会・研究会（上田市～13日）
26日（木）　北信越博物館協議会総会・研究協議会（金沢市～27日）
28日（土）　古文書講座上級①
6月4日（土）　「歴史館ふるさと講座 in 千曲」①　古文書講座中級A①
5日（日）　古文書講座初級A①
8日（水）　全国博物館長会議（東京）
9日（木）　全国公文書館長会議（東京～9日）
10日（金）　「歴史館ふるさと講座 in 千曲」②
16日（木）　古文書講座初級B①　古文書講座中級B①
17日（金）　「歴史館ふるさと講座 in 千曲」③
23日（木）　県史料協史料保存講習会・総会
24日（金）　「歴史館ふるさと講座 in 千曲」④
25日（土）　古文書講座上級②
26日（日）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（歴史館会場）終了
7月1日（金）　「歴史館ふるさと講座 in 千曲」⑤
2日（土）　古文書講座中級A②
3日（日）　古文書講座初級A②
9日（土）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（伊那会場）開始
13日（水）　交通安全講習会
16日（土）　考古学講座①
18日（月）　夏季企画展関連イベント
21日（木）　古文書講座初級B②　古文書講座中級B②
23日（土）　古文書講座上級③
29日（金）　総合教育センター研修
30日（土）　夏季企画展関連講座
8月3日（水）　信大免許講習（～4日）
5日（金）　人権研修会
6日（土）　歴史館で夏休み（～7日）
11日（木）　夏季企画展関連講座
13日（土）　連続講座「歴史館から考える戦争と平和」①
ボランティア研修講座（13・14・20・21日）
20日（土）　伊那文こどもまつり
夏季企画展関連イベント
21日（日）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（伊那会場）終了
23日（火）　博物館実習開始（～9/2）
27日（土）　連続講座「歴史館から考える戦争と平和」②
古文書講座上級④
やさしい信濃の歴史講座 in 上田
9月3日（土）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（松本会場）開始
古文書講座中級A③
連続講座「歴史館から考える戦争と平和」③
4日（日）　古文書講座初級A③

10日（土）　連続講座「歴史館から考える戦争と平和」④
　　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（松本会場）講演会
15日（木）　古文書講座初級B③　古文書講座中級B③
17日（土）　秋季企画展開始
　　考古学講座②
24日（土）　古文書講座上級⑤
　　秋季企画展関連イベント
10月1日（土）　古文書講座中級A④
　　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（松本会場）遺跡報告会
4日（日）　古文書講座初級A④
6日（木）　「大人の遠足」現地
10日（月）　秋季企画展関連イベント
15日（土）　秋季企画展講座
　　遺跡探訪会
16日（日）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（松本会場）終了
20日（木）　古文書講座初級B④・中級B④
22日（土）　秋季企画展講演会
29日（土）　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」（佐久会場）開始
　　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」展示解説デー
11月3日（木）　森将軍塚まつり（千曲市主催）　関連イベント
　　「縄文人になって遊ぼう！」
5日（土）　古文書講座中級A⑤
　　巡回展「長野県の遺跡発掘2016」展示解説デー
6日（日）　古文書講座初級A⑤
11日（金）　県史料保存活用協議会講習会
12日（土）　秋季企画展関連イベント
13日（日）　秋季企画展関連イベント
　　信大免許講習
17日（木）　古文書講座初級B⑤　古文書講座中級B⑤
19日（土）　考古学講座③
　　やさしい信濃の歴史講座in箕輪
22日（火）　考古資料保存処理講習会
21日（土）　秋季企画展関連講座　やさしい信濃の歴史講座in松本①
26日（土）　近世史セミナー
27日（日）　秋季企画展終了
　　クリスマスリース作り
12月3日（土）　やさしい信濃の歴史講座in松本①
10日（土）　やさしい信濃の歴史講座①
17日（土）　冬季展開始
　　考古学講座④
23日（金）　冬季展講演会
24日（土）　やさしい信濃の歴史講座②
27日（火）　年末年始休館（～1月3日）
1月7日（土）　やさしい信濃の歴史講座③
14日（日）　冬季展関連講座①
21日（土）　やさしい信濃の歴史講座④
26日（木）　「文化財防火デー」消防訓練
27日（金）　日本ケーブルテレビ長野県協議会・歴史館連携調印式
28日（土）　冬季展関連講座②
2月4日（土）　やさしい信濃の歴史講座⑤
11日（土）　冬季展関連講座③
18日（土）　やさしい信濃の歴史講座⑥
19日（日）　安曇野市豊科郷土博物館連携講座
23日（木）　県博物館協議会研修会（～24日）

信州大学「情報メディア論」講義（～24日）
25日（土）　やさしい信濃の歴史講座 in 松本②
飯田市美術博物館連携講座①
26日（日）　冬季展終了
3月8日（水）　県史料協講習会（～9日）
11日（土）　やさしい信濃の歴史講座⑦
18日（土）　巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」（歴史館）開始
考古学セミナー
20日（月）　親子映画会①
22日（水）　親子映画会②
23日（木）　親子映画会③
24日（金）　親子映画会④
25日（土）　公開講座「明治の村絵図を楽しむ」

長野県立歴史館年報　第19号
2016年度（平成28年度）

2017年(平成29)　月　日発行

編集・発行　長野県立歴史館
〒387－0007　千曲市屋代260－6
ＴＥＬ　026－274－2000（代表）
ＦＡＸ　026－274－3996